DX BROADTEC

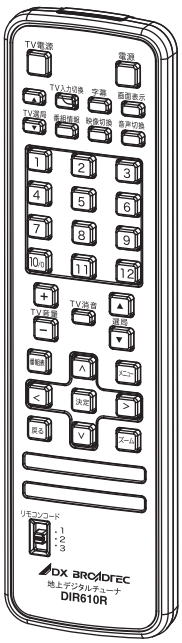
取扱説明書

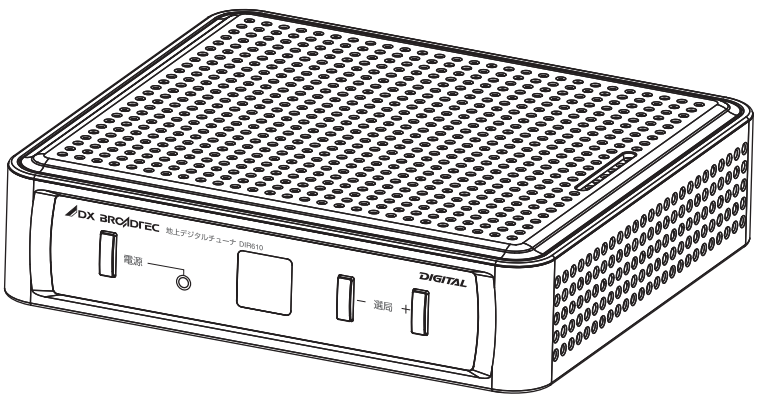
このたびはDXアンテナ製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。

DIGITAL

地上デジタルチューナ
DIR610

DXアンテナ製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。





主な機能対応	
CATVパススルー	対　　応
字幕放送	対　　応
データ放送	非対応
双方向サービス	非対応
電子番組表	対　　応

●地上デジタル放送専用

※保証書は取扱説明書の最後に記載しています。

14ページをご覧になり付属品が全て同梱されているかお確かめください

ご使用になる前に

本機で受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送

地上波のUHF帯の電波を使って行われるデジタル放送です。高品質（ゴーストや雑音のない）・高画質の映像を楽しむことができます。関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが国の法令によって定められています。

※本機は字幕・文字スーパーを除くデータ放送サービス・双方向サービスには対応しておりません。また本機で地上アナログ放送の受信はできません。

地上デジタル放送の受信方法について

アンテナでご視聴の場合

地上デジタル放送を受信するためにはUHFアンテナが必要です。現在お使いのアンテナがUHFまたはUHF/VHF混合アンテナの場合はそのまま使用できる可能性があります。また、UHFアンテナの向きの変更が必要な場合があります。
詳細については、お近くの電器店やアンテナ設置業者にご相談ください。
詳しくは19ページをご覧ください。

ケーブルテレビでご視聴の場合

ご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。詳しくは20ページをご覧ください。

マンションなど集合住宅の場合

お住まいの共聴設備が地上デジタル放送に対応しているか、管理組合または管理会社等にお問い合わせください。

B-CASカードについて

デジタル放送を見るには本機に付属のB-CAS（ビーキャス）カードが必要です

■B-CASカードの取り扱いについて

- カードの説明書の文面をよくお読みください。
- カードを挿入しないと、著作権保護されたデジタル放送は視聴することができません。
- カードは常時挿入しておいてください。
- カードを紛失、破損したり、盗難にあったときは、㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターにご連絡ください。（カード台紙に記載されています。）

もくじ

第１章　はじめに

安全上のご注意 6
使用上のお願い 10
　守っていただきたいこと 10

第２章　準備する

付属品 14
各部のなまえ（リモコン）..... 15
各部のなまえ（本体）..... 16
ご使用の前に 17
リモコンを準備する 18
　乾電池の入れかた 18
　使いかた 18
アンテナを接続する 19
テレビを接続する 21
ビデオや DVD レコーダーを接続する .. 22
B-CAS カードを挿入する 23
AC アダプターを接続する 24
初期設定をする 25
　自動チャンネル割り当てについて ... 28
TV メーカーコードを設定する 29

第３章　地上デジタル放送を見る

番組を見る 32
電子番組表を見る（番組表）..... 33
　番組表のみかた 33
番組表から視聴予約をする 36
　視聴予約をする（番組表予約）..... 36
　予約一覧と予約の編集・取消 39
視聴している番組の番組情報を見る
（番組情報）..... 41
チャンネル番号などを表示する
（画面表示）..... 42
字幕を表示する（字幕）..... 43
二ヶ国語音声を選ぶ（音声切換）..... 44
マルチビュー放送を見る（映像切換）.. 45
ズーム画面表示にする（ズーム）..... 46
リモコンコードを設定する 47

第４章　メニュー操作のしかた

メニュー操作のしかた（メニュー）..... 50
　メニューの操作と項目設定のしかた ... 50
メニュー一覧表 51
視聴予約 52
　視聴予約メニュー画面 52
　視聴予約をする（タイマー予約登録）. 52
　予約一覧と予約の編集・取消 54
チャンネル設定 56
　チャンネル設定メニュー画面 56
　アンテナレベル 56
　ボタン割り当て変更設定 57
　自動チャンネル設定 58
お知らせ 59
　お知らせメニュー画面 59
各種設定 60
　各種設定メニュー画面 60
　接続テレビ設定 60
　二ヶ国語設定 60
　字幕設定 61
　文字スーパー設定 61
　リモコンコード設定 61
　B-CAS カード ID 番号 61
　バージョン 61
　設定初期化（工場出荷設定）..... 62

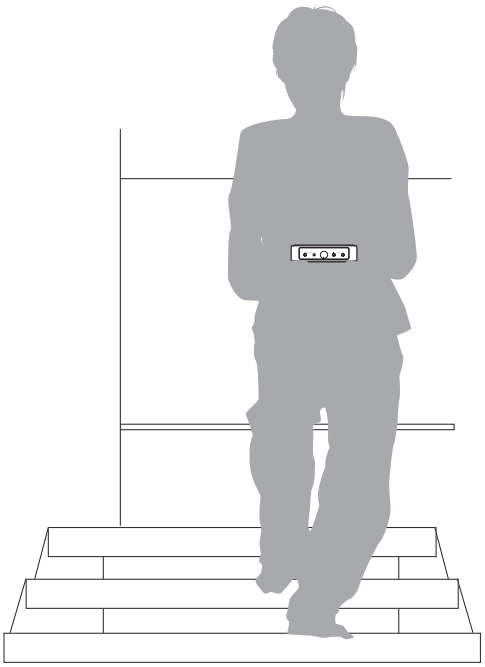
第５章　ご参考

ソフトウェアのダウンロード 64
　ダウンロードについて 64
おもな仕様 65
地上デジタル放送が受信できないときは .. 66
故障かな？と思ったら 67
エラーメッセージ 69
保証と修理サービス 70

さくいん 71

1

第１章
はじめに



安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。
⚠注 意	けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

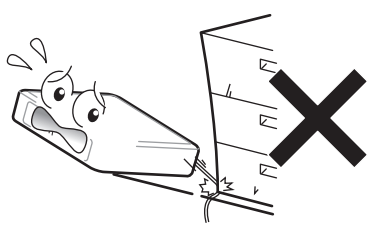
注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
一般的注意	禁　止　分解禁止　ぬれ手禁止	一般的指示

⚠警 告

ACアダプターを傷つけないでください
火災・感電などの原因となります

禁 止

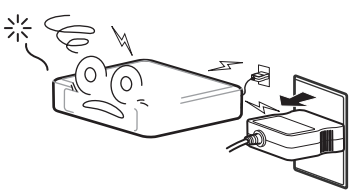
・設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込んだりしない
・ACアダプターを加工したり、傷つけたりしない
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない
・ACアダプターを抜くときは、必ずプラグを持って抜く



破損したり、異常が発生した場合はACアダプターを抜いてください
火災・感電などの原因となります

電源プラグを抜く

・落としたり、本機の一部を破損した場合は、電源を切り、ACアダプターを抜く
・煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、ACアダプターを抜く



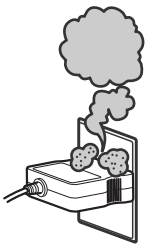
安全上のご注意（つづき）

⚠警 告

ACアダプターにホコリなどが付着しているときは、ACアダプターを抜いて乾いた布で取り除いてください

ほこりを取る

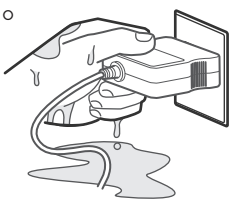
・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

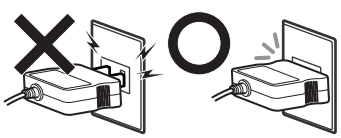
・感電の原因となることがあります。



ACアダプターは確実に差し込んでください

確実に差し込む

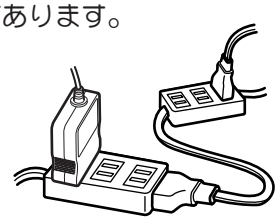
・差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。



タコ足配線をしないでください

禁　止

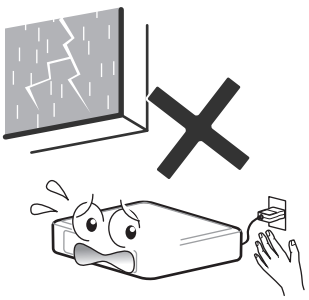
・火災や感電の原因となることがあります。



雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、ACアダプターに触れないでください

接触禁止

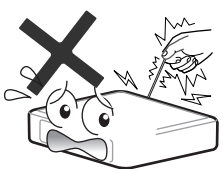
・感電の原因となります。



内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり入れたりしないでください

禁　止

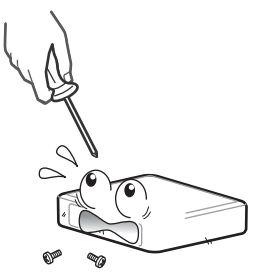
・火災や感電の原因となることがあります。
万一異物が入ったときは、すぐ電源を切り、ACアダプターを抜いてください。



本機を分解したり、改造したりしないでください

分解禁止

・内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。



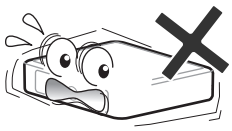
安全上のご注意（つづき）

⚠警 告

不安定な場所に置かないでください

禁　止

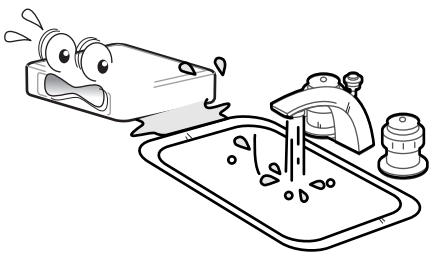
・落下したりして、けがの原因となります。



水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

禁　止

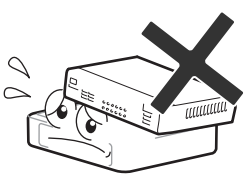
・火災、感電の原因となることがあります。



重いものを置いたり、他の機器を重ねて置いたりしないでください

禁　止

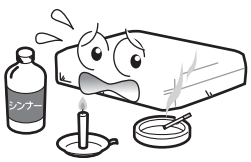
・故障や火災などの原因となることがあります。



火のついたろうそく、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください

火気禁止

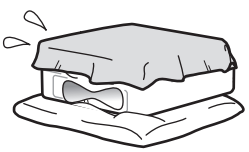
・変形や火災のおそれがあります。



風通しの悪い所やじゅうたんの上に置いたり、布などをかけないでください

禁　止

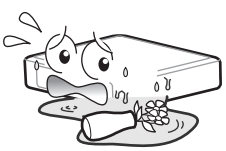
・内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



近く、または上に花瓶など水の入ったものを置かないでください

水ぬれ禁止

・水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。
万一水が入ったときはすぐ電源を切り、ACアダプターを抜いてください。



安全上のご注意（つづき）

⚠注 意

移動するときは、接続されている線をすべてはずしてください

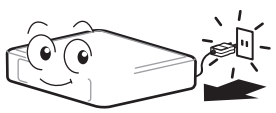
接続線をはずす

・コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

お手入れや長時間使用しないときは AC アダプターを抜いてください

電源プラグを抜く

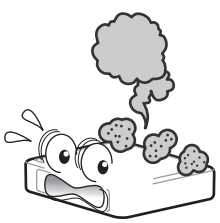
・感電や火災の原因となることがあります。



通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください

ほこりをとる

・火災の原因となることがあります。

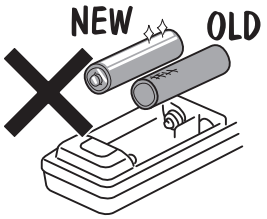


■ リモコンの取り扱いについて

指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください

禁　止

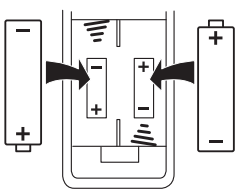
・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



電池の＋とーの向きを正しく入れてください

表示通りに入れる

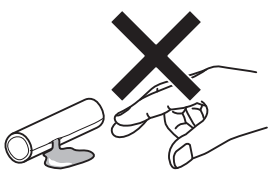
・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



アルカリ電池の液が漏れた場合は素手で触らないでください

接触禁止

・皮膚の炎症、失明やけがの原因となることがあります。目に入った場合は流水で洗い、眼科医へご相談ください。



※ 使用済み電池の処分について

・使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

使用上のお願い

守っていただきたいこと

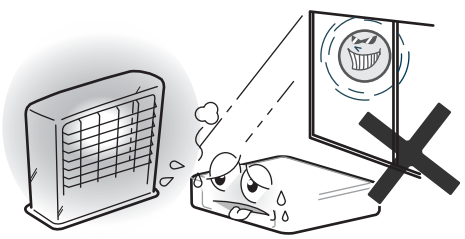
国外では使用できません

・この製品が使用できるのは日本国内のみです。外国では放送形式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

設置について

・発熱する機器の近くや直射日光の当たる場所には本機を置かないでください。



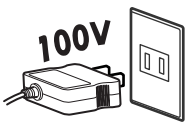
・本機の上には物を置かないでください。
・不安定な場所や湿気の多い所に置かないでください。
・窓際に置く場合は、雨や雪などで濡らさないようご注意ください。

電源・電圧について

・指定（AC100V 50/60Hz）以外の電源は使わないでください。

指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。

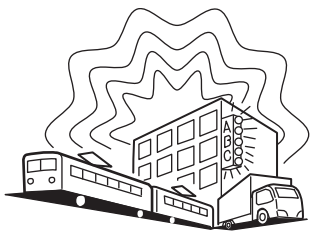
・ACアダプターは、必ず付属品をお使いください。



UHFまたはUHF/VHFアンテナについて

・妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。

万一、アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。



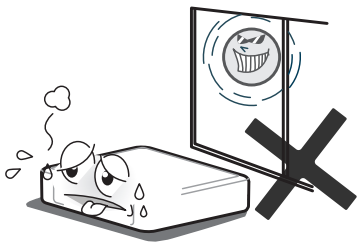
・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。
・アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、電器店や設置業者等にお問い合わせください。
・アンテナを新たに設置する場合は、アンテナに付属のマニュアルにしたがって正しく取り付けを行ってください。

使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

直射日光や熱気を避けてください

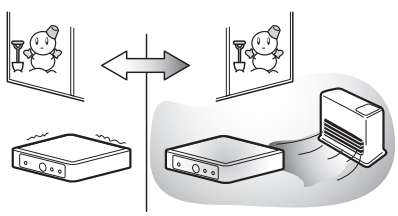
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。



・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。

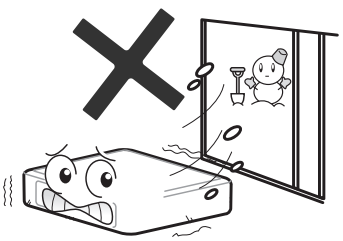
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

・急激な温度変化が起こる部屋（場所）でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。



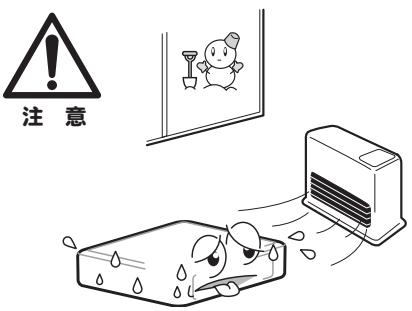
低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。
使用温度：0℃～ +40℃



結露について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などでは、表面や内部に結露（水滴が付着）が発生することがあります。そのままご使用になると故障の原因となりますので、結露が起きた時は結露がなくなるまでACアダプターをコンセントに接続しないでください。

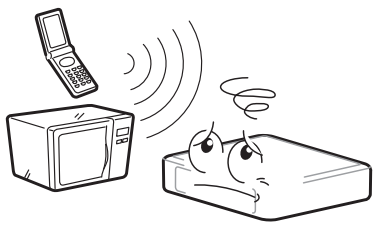


使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

電磁波妨害について

・本機の近くで携帯電話や他の電子機器を使うと、電磁波などによりお互いに悪影響を及ぼすことがあります。特にラジオ等が付近にある場合、雑音が入ることがあります。その場合は本機から離してご使用ください。



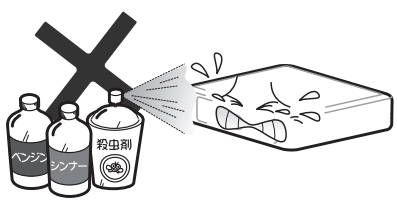
お手入れのしかた

・お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

・汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。

・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。

・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。跡がついたり、変色などの原因となります。



使用上のご注意

・あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用することはできません。

・本機の不具合により録画できなかった場合等の補償については一切応じられませんのであらかじめご了承ください。

・「お知らせ」などのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合の復元は不可能です。その内容等の補償については応じられませんのであらかじめご了承ください。

・B-CAS（ビーキャス）カード（ICカード）はデジタル放送を視聴していただくための大切なカードです。B-CASカードを挿入しないとデジタル放送番組を視聴できません。詳しくは23ページをご覧ください。

・一般家庭以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶等への搭載など）で使用されますと故障の原因となることがあります。

2

第 2 章
準備する

付属品

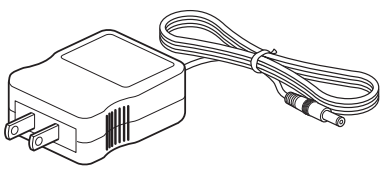
下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

リモコン（1 個）

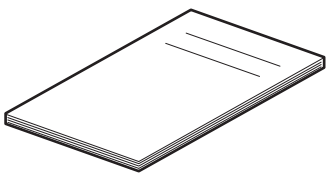
B-CAS（ビーキャス）カード（1 枚）

※本機には青色の B-CAS カードが付属しています。（必ず本機付属のものをお使いください。）

AC アダプター（1 個）

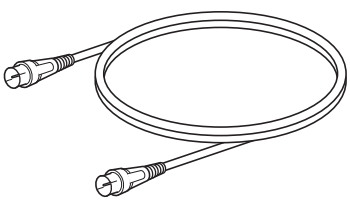


取扱説明書（1 部）

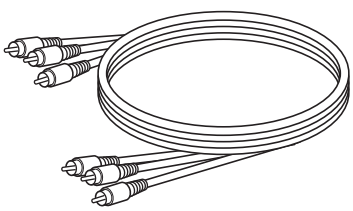


※裏表紙が保証書になっています。お買い上げ日をご記入のうえ、大切に保管してください。

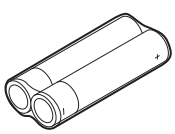
アンテナケーブル（1 本）



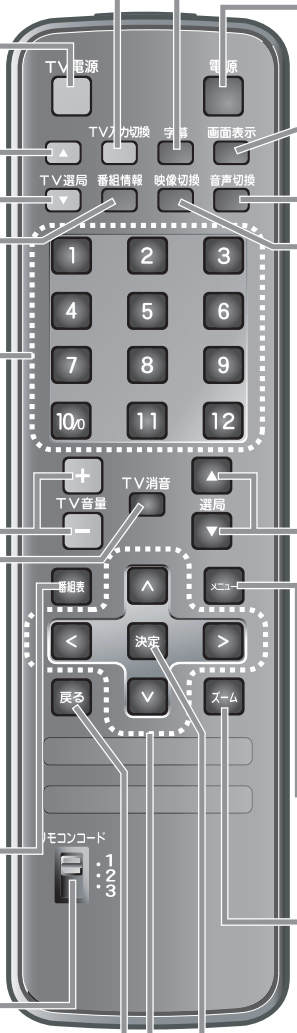
AV ケーブル（1 本）



単 4 乾電池（2 個）



各部のなまえ（リモコン）



TV入力切換ボタン
☞25ページ
テレビの入力を切り換えます。

TV電源ボタン ☞25ページ
テレビの電源を入/切します。

TV選局ボタン
テレビのチャンネルを選局するときに使います。

番組情報ボタン ☞41ページ
電子番組表の番組詳細情報を表示します。

数字ボタン ☞32ページ
チャンネル番号を入力するときに使います。

TV音量ボタン ☞32ページ
テレビの音量を調節します。

TV消音ボタン ☞32ページ
一時的にテレビの音を消します。もう一度押すと解除されます。

番組表ボタン ☞33ページ
電子番組表を表示します。

リモコンコード切換スイッチ ☞47ページ
スイッチを切り換えることにより、同じ部屋で本機を３台まで個別にリモコン操作できます。

戻るボタン
電子番組表やメニュー設定画面などで前の画面に戻るときに使います。

字幕ボタン ☞43ページ
字幕の表示、非表示を切り換えます。

電源ボタン ☞25ページ
本機の電源を入/切します。

画面表示ボタン ☞42ページ
番組を見ているときに押すと、チャンネル番号などが表示されます。

音声切換ボタン ☞44ページ
見ている番組が二ヶ国語放送や主/副音声放送の場合、ボタンを押すごとに音声モードが切り換わります。

映像切換ボタン ☞45ページ
見ている番組がマルチビュー放送の場合、ボタンを押すごとに映像が切り換わります。

選局ボタン ☞32ページ
登録されているチャンネル（1～20）を選択します。

メニューボタン ☞50ページ
メニュー設定画面を表示します。

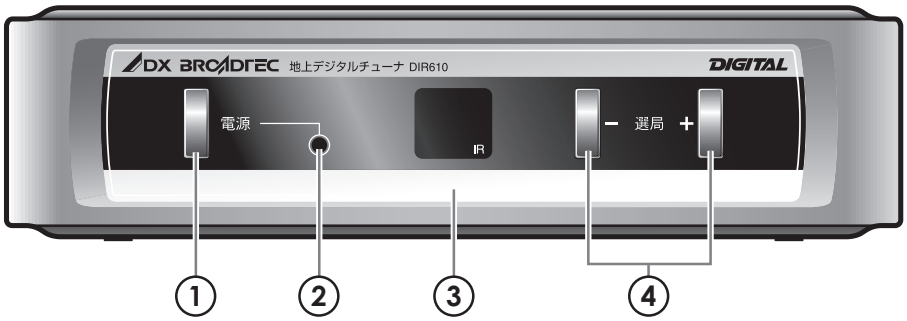
ズームボタン ☞46ページ
テレビ画面をズーム表示に切り換えます。

決定ボタン ☞50ページ
メニュー設定で選択した項目を確定するときに使います。

カーソルボタン ☞50ページ
メニュー設定項目を選択するときに使います。

※ [　　] ボタンはテレビを操作するためのボタンです。
このボタンでテレビを操作するには、TV メーカーコードの設定が必要です（☞29 ページ）。
また、このボタンの操作時はご使用のテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
（本機のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。）

各部のなまえ（本体）



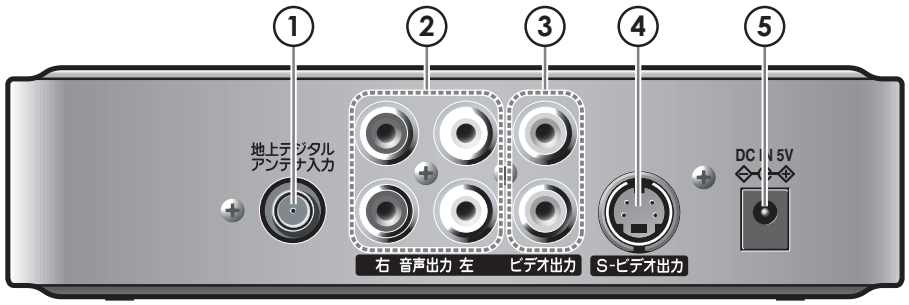
※本体の操作ボタンは、リモコンの各操作ボタンと同じ操作ができます。

①電源ボタン
本機の電源を入/切します。

②電源ランプ
電源を入れると緑点灯し、電源切（スタンバイ）時に赤点灯します。

③リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

④選局ボタン
チャンネルを選択します。



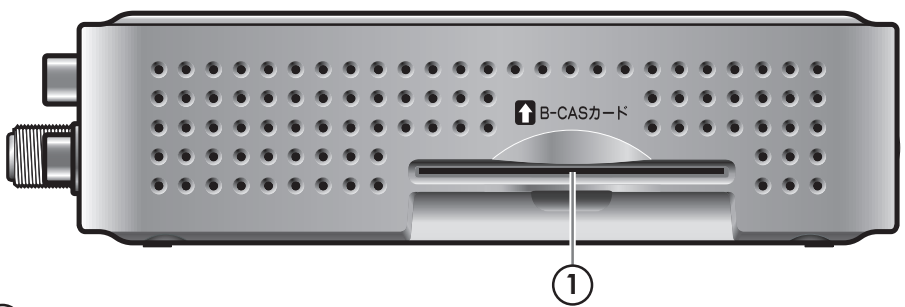
①アンテナ入力端子
地上デジタル放送対応アンテナを接続します。

②音声出力端子
テレビの音声入力端子に接続します。

③映像出力端子
テレビの映像入力端子に接続します。
（**②音声出力端子**も同時に接続してください）

④S-ビデオ出力端子
S映像入力端子のあるテレビなどを接続する場合に使います。

⑤電源入力
付属のACアダプターを接続します。

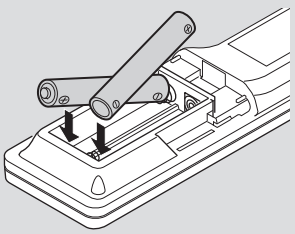


①B-CASカード挿入口
B-CASカード（付属）を挿入します。

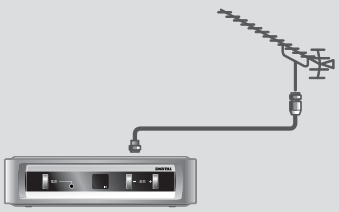
ご使用の前に

お買い上げ後初めてお使いになるときは、次の手順で本機の準備をしてください。

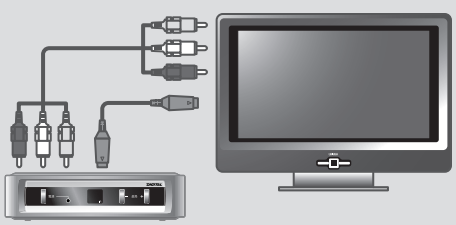
1 リモコンに電池を入れます
(☞ 18 ページ)



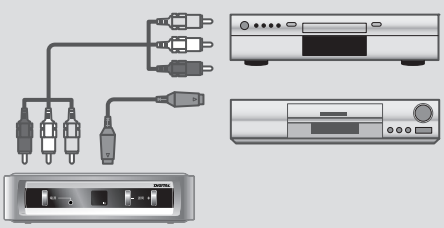
2 アンテナケーブルを接続します
(☞ 19 ページ)



3 テレビを接続します
(☞ 21 ページ)

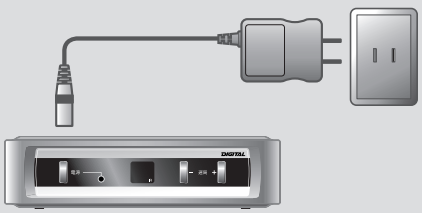


4 各機器を接結します
(☞ 22 ページ)

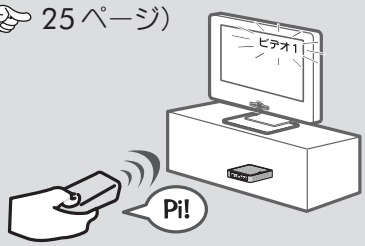


5 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入します
(☞ 23 ページ)

6 AC アダプターを接続します
(☞ 24 ページ)



7 電源を入れ、入力を切り換えます
(☞ 25 ページ)



8 初期設定をします
(☞ 26 ページ)

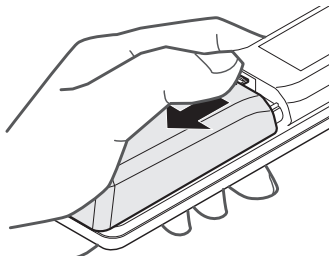
・ 接続したテレビの設定
・ チャンネル設定

これで基本の接続と設定は完了です。

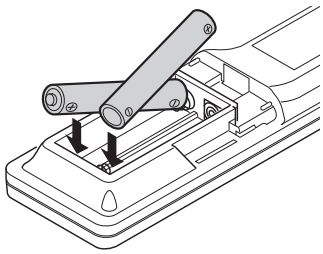
リモコンを準備する

乾電池の入れかた

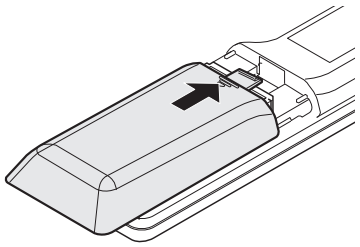
1 カバーをあけます
カバーをスライドさせてはずします。



2 乾電池を入れます
単 4 乾電池 2 本をケース内の表示通りに入れてください。
(⊕、⊖ の位置を正しく入れてください。)



3 カバーを閉めます
カバー上方にあるツメをリモコン本体内部に入れ、パチンと音がするまでスライドさせます。



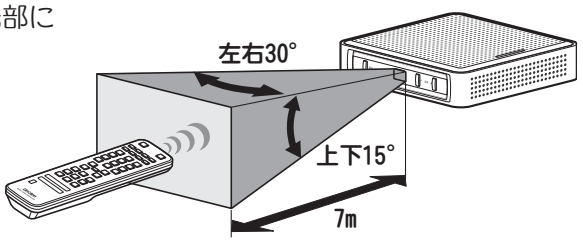
ご注意

- 指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

使いかた

- リモコンの先端部を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

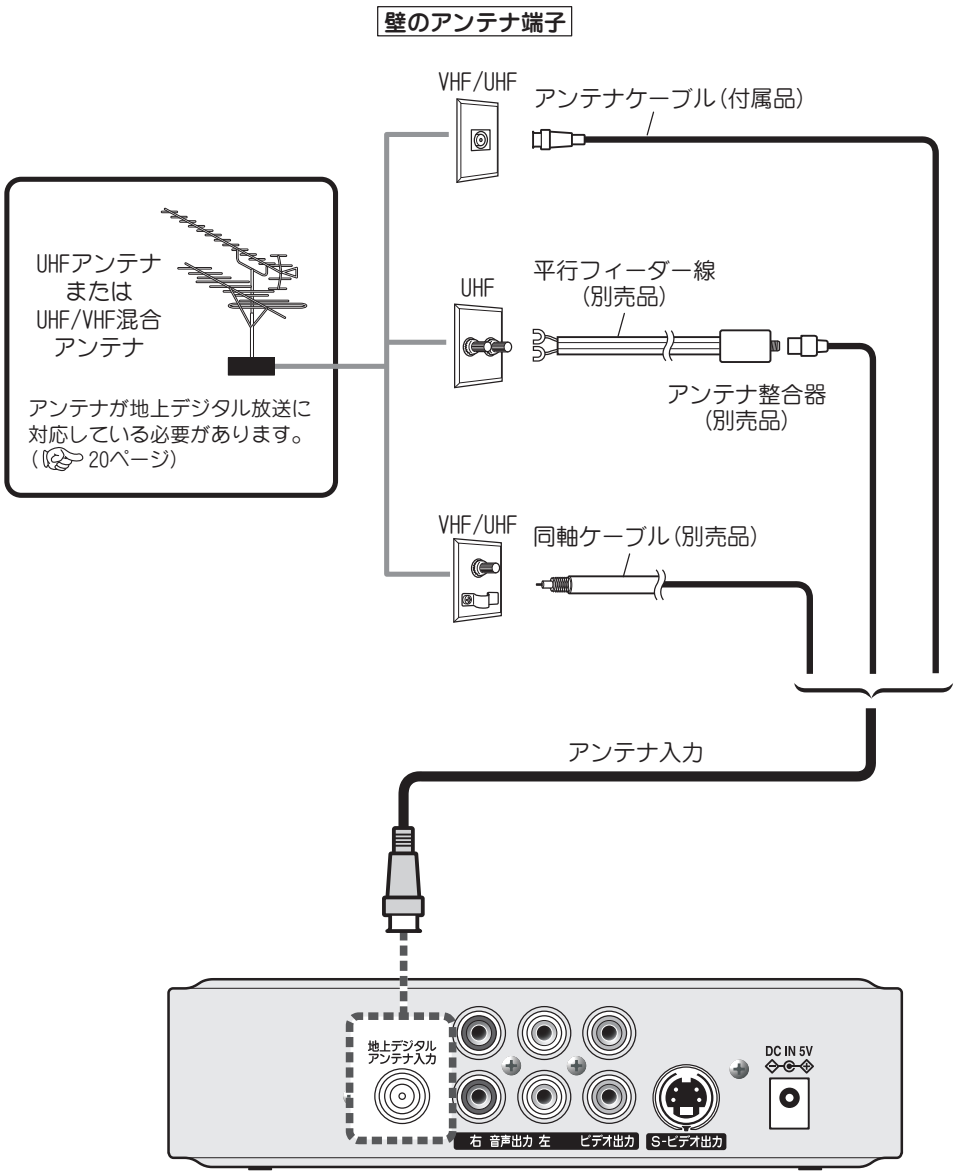
リモコンの操作範囲は本体正面よりおよそ 7 メートル以内で、本体正面より左右 30˚以内、上下 15˚以内です。



- リモコン操作で本機が動作しない場合（本体のボタンでは動作する）は、リモコンの乾電池寿命が考えられます。新しい電池に交換してください。
- リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けないでください。熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。照明または本機の向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。

アンテナを接続する

アンテナケーブル・整合器などを、使用するアンテナ端子に応じて接続し、本機のアンテナ入力端子に接続してください。



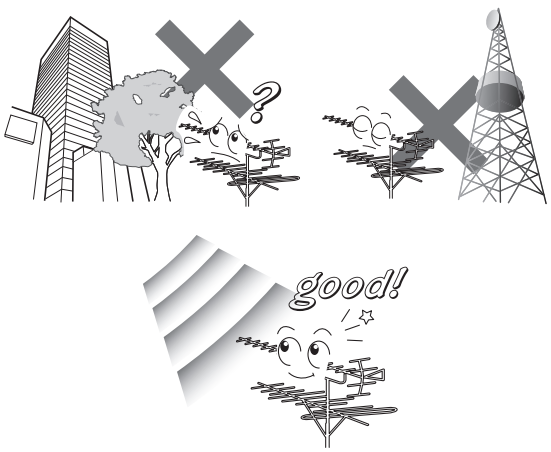
アンテナを接続する（つづき）

ご参考

●地上デジタル放送受信アンテナについて

地上デジタル放送を受信するためにはUHFアンテナが必要です（☞3ページ）。

設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、発信基地が遠距離のため電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。
電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。



地上アナログ放送受信用とは別に、地上デジタル受信用のアンテナを設置するときは、電器店やアンテナ設置業者等とご相談のうえ、アンテナを設置してください。

本機を設置・設定後、アンテナの受信レベルを確認することができます。詳しくは「アンテナレベル」（☞56ページ）をご覧ください。

画像が映らない、または乱れるなどの問題がある場合は、「地上デジタル放送の受信ができないときは」（☞66ページ）のフローチャートにしたがって、アンテナの準備や調整などを行ってください。または、「故障かな？と思ったら」（☞67ページ）をご覧ください。

●きれいな画像をお楽しみいただくために

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。

下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機のアンテナ入力端子への接続は、必ず付属のアンテナ接続ケーブルをお使いください。
- アンテナ線は他のコードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

●CATVでの受信について

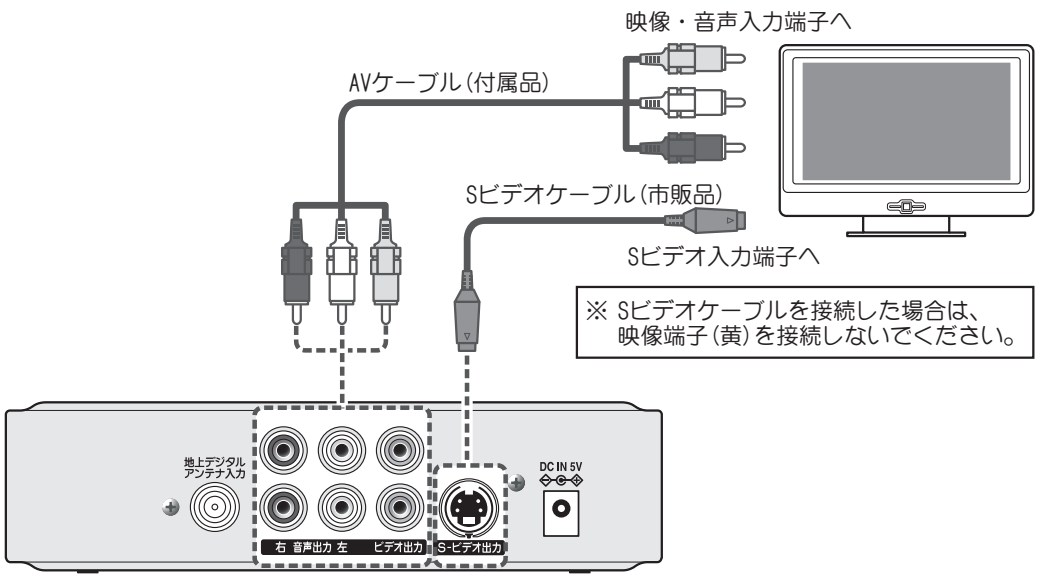
CATV受信にはいくつかの方式があります。本機は「同一周波数パススルー方式」および「周波数変換パススルー方式」に対応可能です。詳しくはご契約のCATV会社にお問い合わせください。または、「地上デジタル放送の受信ができないときは」（☞66ページ）のフローチャートにしたがってお確かめください。

テレビを接続する

テレビを接続しない場合は、次の「ビデオや DVD レコーダーを接続する」（☞ 22 ページ）へ進んでください。

ご注意

- テレビを接続するときは、必ず本機および接続するテレビの電源を「切」にしてください。
- 映像（黄）・音声（赤:右、白:左）接続用のプラグと端子は、色分けがしてあります。ケーブルと接続端子のそれぞれの色が合うように接続してください。
- 映像出力端子 / 音声出力端子には、映像 / 音声信号以外のものを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続時のご注意
  - ・プラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、ノイズの原因となります。
  - ・プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。



ご参考

- Sビデオ端子について

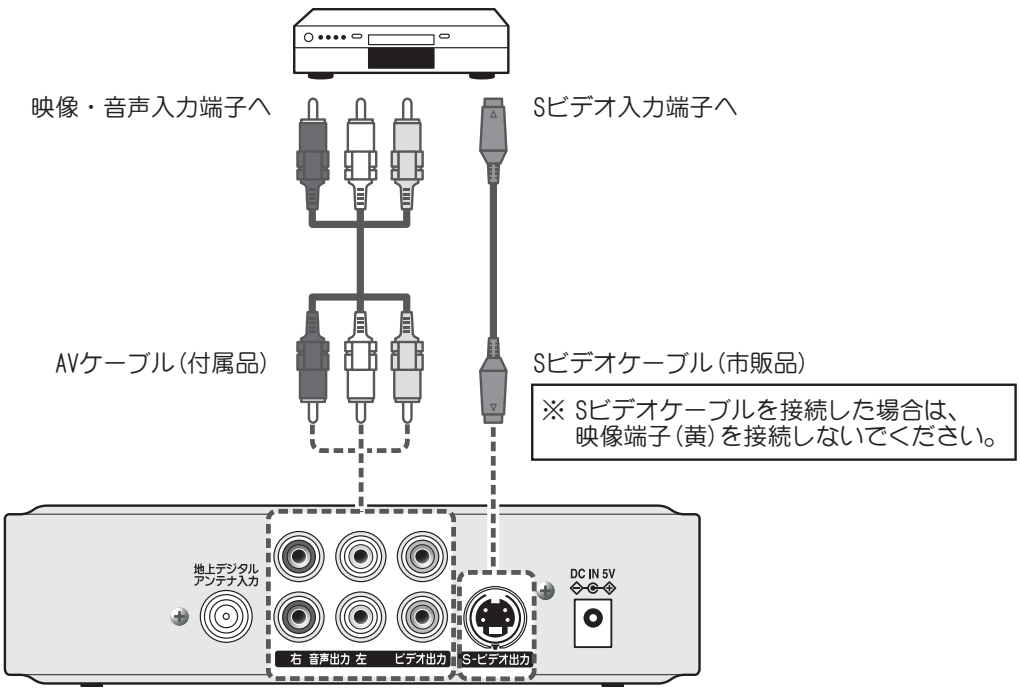
  より鮮明な画質を得るために、映像信号を輝度（明るさ）と色に分離したものです。本機のビデオ出力はSビデオケーブルまたはビデオ・オーディオケーブルどちらも接続可能です。
  音声はそれぞれの音声端子（左・右）に接続します。

ビデオや DVD レコーダーを接続する

他の外部機器を接続しない場合は、次の「B-CAS カードを挿入する」（☞ 23 ページ）へ進んでください。

ビデオやDVDレコーダーなどの録画機器を本機に直接つないで受信番組を録画する場合は、録画機器の入力端子に合わせて次のように接続してください。

本機の映像／音声出力端子と録画機器の映像／音声入力端子を市販のビデオ・オーディオケーブルなどを使ってつないでください。



ご注意

- **録画中に本機の操作をしないでください。画面に表示される内容がそのまま録画されてしまいます。**
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

B-CASカードを挿入する

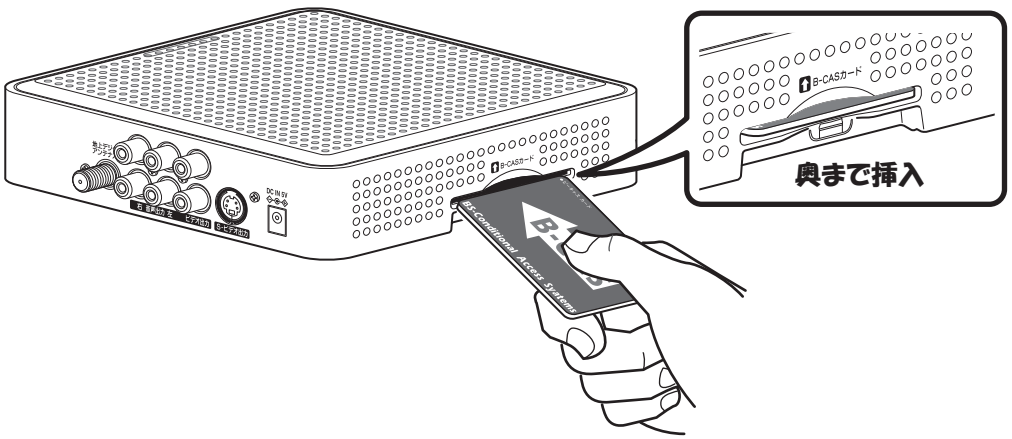
地上デジタル放送を視聴するには、本機に付属のB-CAS（ビーキャス）カードが必要です。

1 B-CASカードを取り出します

付属のB-CASカードを台紙から取り出します。
B-CASカードのパッケージを開封すると、パッケージに添付されている契約約款に同意したものとみなされます。開封前に必ず契約約款をお読みください。

2 B-CASカードを挿入します

側面のスロットに付属のB-CASカードを差し込みます。
図のように矢印のある印刷面を上側にし、矢印の先端を先にして奥まで挿入してください。



3 B-CASカードの登録をします

B-CASカードが貼ってあった台紙に記載された内容に従い、B-CASカードの登録を行ってください。B-CASカードの登録がなされていないと、視聴ができなかったり、画面にB-CASカードを登録するよう表示が出たりします。

■B-CASカード 取り扱い上の注意点

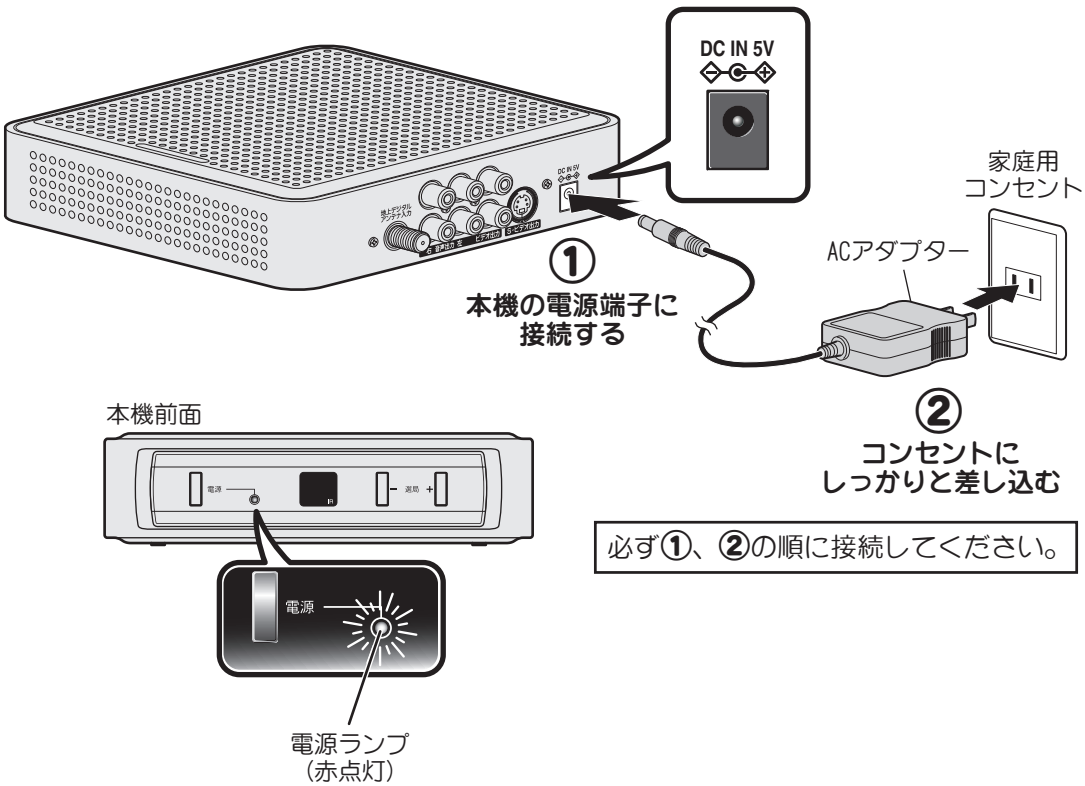
- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

ご注意

- 本機付属のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。
- B-CASカードは奥まで挿入してください。
- ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- ご使用直後のB-CASカードは温かくなりますので、抜き差しする場合はご注意ください。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、B-CASカードの交換が必要となる場合があります。詳しくは69ページをご覧ください。

ACアダプターを接続する

付属のACアダプターを本機の電源端子に接続し、電源プラグを家庭用コンセントに差し込んでください。本機前面の電源ランプが赤点灯し、スタンバイ状態となります。



必ず①、②の順に接続してください。

ご注意

- ACアダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください。他のACアダプターは使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ACアダプターを抜き差しするときは、必ず本体部を持って行ってください。
- ACアダプターを抜き差ししやすいように、コンセントの近くに設置してください。
- ACアダプターの表面が温かくなりますが故障ではありません。

初期設定をする

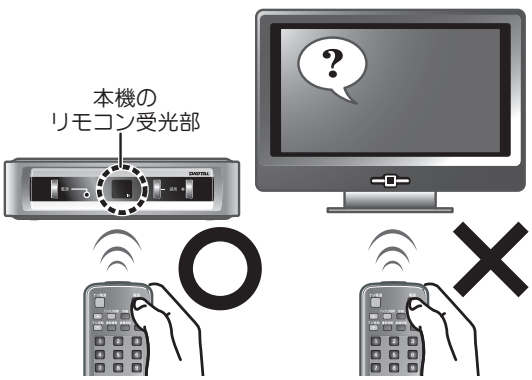
ご購入後はじめて本機の電源を入れると、自動的に初期設定画面になり、デジタル放送受信に必要な設定を順に行うことができます。

初期設定は付属のリモコンで設定します

初期設定は [∧] [∨] [<] [>] **ボタン**で項目を選び、[決定] **ボタン**を押して決定します。
また、テレビ画面上には設定中に使用できるボタンがガイド表示されます。

リモコン操作時にご注意いただくこと

- 本機を初期設定するときは、リモコンを必ず本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本機のリモコンコードはご購入時「1」に設定されています。
リモコンのコードスイッチも「1」になっていることを確認してください。

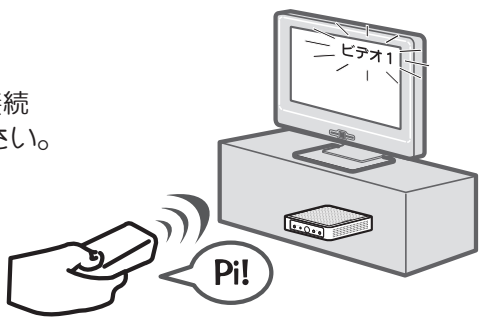


1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

テレビの外部入力切換ボタンを押し、本機を接続した入力（☞21 ページ）に切り換えてください。

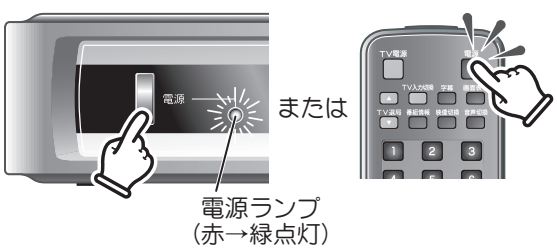
※お使いのテレビにより“ビデオ 1”や“外部入力 1”など呼びかたが違います。

※本機のリモコンでテレビの操作をするには初期設定完了後、TV メーカーコードの設定（☞29 ページ）を行ってください。



2 本機またはリモコンの電源ボタンを押し、本機の電源を入れます

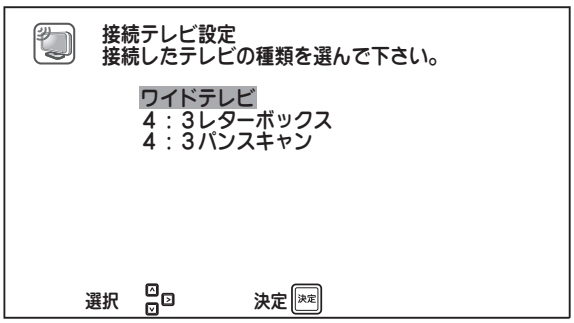
電源が入り、電源ランプが赤から緑点灯に変わります。
画面には「接続テレビ設定」画面が表示されます。



初期設定をする（つづき）

3 接続テレビ設定

接続したテレビの縦横比に
合わせて [∧] / [∨] **ボタン**で
選択し、[決定] **ボタン**を押します。



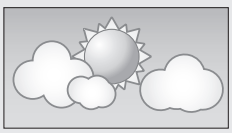
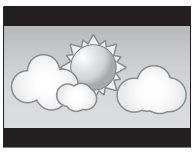
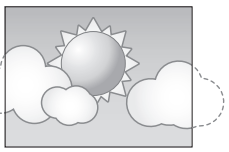
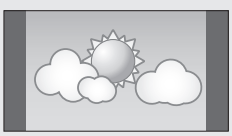
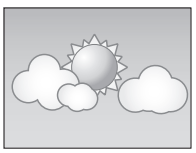
ワイドテレビ
…ワイドテレビのとき

4：3レターボックス または **4：3パンスキャン**
…普通のテレビのとき

各設定による画面表示の違いについては下の「ご参考」をご覧ください。

ご参考

「4：3レターボックス」「4：3パンスキャン」各設定による画面表示の例

元の映像	「4：3レターボックス」	「4：3パンスキャン」
 16:9 映像	 上下に帯が入って表示されます。	 縦いっぱいに表示されます。（ただし左右の一部がカットされます）
 左右に帯が入った 16:9 映像	上下左右に帯が入って表示されます。	 画面いっぱいに表示されます。

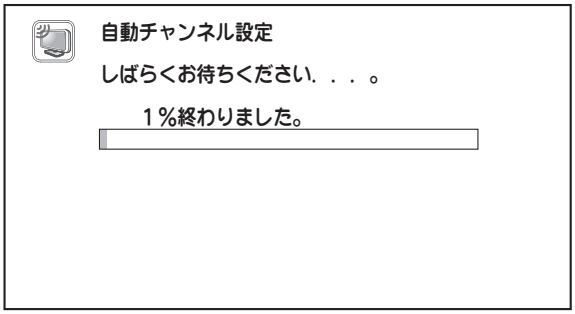
※元の映像が4：3映像の場合は、どちらの設定でも画面いっぱいに表示されます。

※4：3レターボックス・パンスキャンの設定はリモコンボタンでも切り換えできます（☞46ページ）。
※この設定はメニュー画面（☞60ページ）でも再設定できます。
※この画面が表示されない場合は、67ページをご覧ください。

初期設定をする（つづき）

4 自動チャンネル設定

受信チャンネルの自動設定プログラムがスタートし、画面には現在処理中の状態がグラフ表示されます。



自動チャンネル設定が終了すると、自動的にデジタル放送受信状態になり、画面には数字ボタン「1」に割り当てられたチャンネルが表示されます。

ご注意

- 受信状態が悪いと、本来受信できる放送局も受信できない場合があります（☞20ページ）。
- アンテナが地上デジタル放送に対応している必要があります（☞20ページ）。
- 画面が表示されない場合は、67ページをご覧ください。

初期設定をする（つづき）

自動チャンネル割り当てについて

初期設定終了後、本機の選局ポジション（1 ～ 20）には、地上デジタル放送受信結果が設定されます。設定される内容は、お住まいの地域に対応した放送局名となります。

例

北海道（札幌）

選局ポジション	放送局名
1	HBC札幌
2	NHK教育・札幌
3	NHK総合・札幌
4	放送なし（割り当てなし）
5	STV札幌
6	HTB札幌
7	TVH札幌
8	UHB札幌

東　京

選局ポジション	放送局名
1	NHK総合・東京
2	NHK教育・東京
3	放送なし（割り当てなし）
4	日本テレビ
5	テレビ朝日
6	TBS
7	テレビ東京
8	フジテレビジョン
9	東京MXテレビ
10	放送なし（割り当てなし）
11	放送なし（割り当てなし）
12	放送大学

※ 上記は受信状態の一例です。
お住まいの地域や設定時の電波の強弱などの諸条件によって受信結果が異なる場合があります。

ご注意

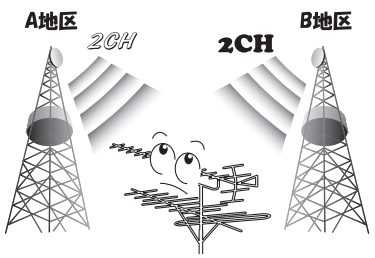
チャンネルが自動登録されないときは…

- アンテナが地上デジタル放送に対応していないことが考えられます。詳しくは「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞66 ページ）をご覧ください。
- アンテナが正しく接続されているか、再度確認してください。

※受信チャンネルの自動設定プログラムは、お買い上げ後最初に本機の電源を「オン」にすると自動スタートしますが、チャンネル設定メニュー（☞58 ページ）で自動または手動でボタン割り当てを変更することもできます。また、ボタン割り当て変更設定画面で現在どのように設定されているかも確認できます。
チャンネル自動設定完了前に本機の電源を「オフ」にした場合は、次回「オン」にしたとき、再度初期設定画面を表示します。

ご参考

- お住まいの地域によっては他地域の地上デジタル放送局の電波が受信できる場合があります。
割り当てる選局ボタンが同じ、複数の局を受信した場合、1 局以外はボタン表示されません。
ボタン割り当て変更設定（☞57 ページ）でボタンの割り当てを行ってください。



TVメーカーコードを設定する

本機のリモコンでテレビを操作する

TVメーカーコードの設定を行うと、本機のリモコンを使って接続したテレビを操作することができます。

※あらかじめ登録されているTVメーカー以外は対応していません。

メーカーコード設定のしかた

1 **リモコンのTV電源ボタンを押しながら、**

2 **ご使用のテレビに合ったメーカーコードの番号を順番に押します**

メーカー	メーカーコード	メーカー	メーカーコード
DX 1	10/0 10/0	松下 1	1 10/0
DX 2	10/0 1	松下 2	1 1
DX 3	10/0 2	ビクター	1 2
ユニデン	10/0 3	三菱 1	1 3
シャープ 1	10/0 4	三菱 2	1 4
シャープ 2	10/0 5	パイオニア	1 5
シャープ 3	10/0 6	三洋 1	1 6
ソニー	10/0 7	三洋 2	1 7
東芝	10/0 8	アイワ 1	1 8
日立	10/0 9	アイワ 2	1 9

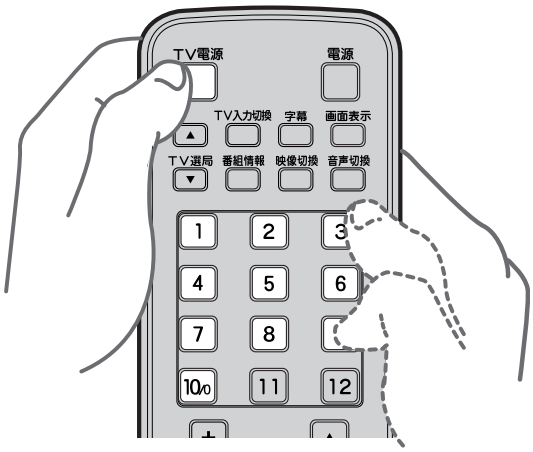
※DXはDX BROADTECの略称です。

※アイワ製テレビをお使いで、上記のメーカーコードがいずれも有効でない場合は、メーカーコード 10/0 7 もお試しください。

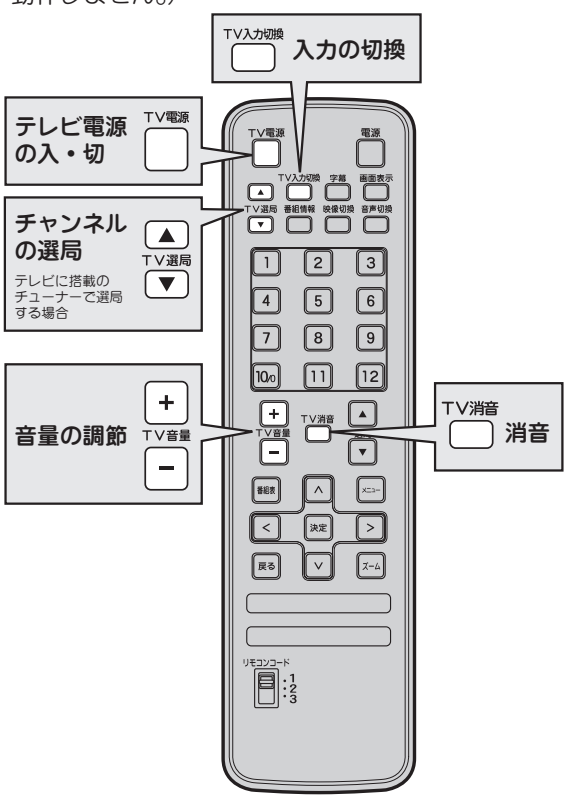
※上記メーカーのテレビでも、機種によっては対応できない場合がございます。

3 **TV電源ボタンを離します**

設定後はTV電源ボタンを押してテレビの電源がオン・オフできるか確認してください。



下記のボタンでテレビの操作が行えます。
操作時は、ご使用の**テレビの**リモコン受光部に向けて操作してください。
（本機のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。）

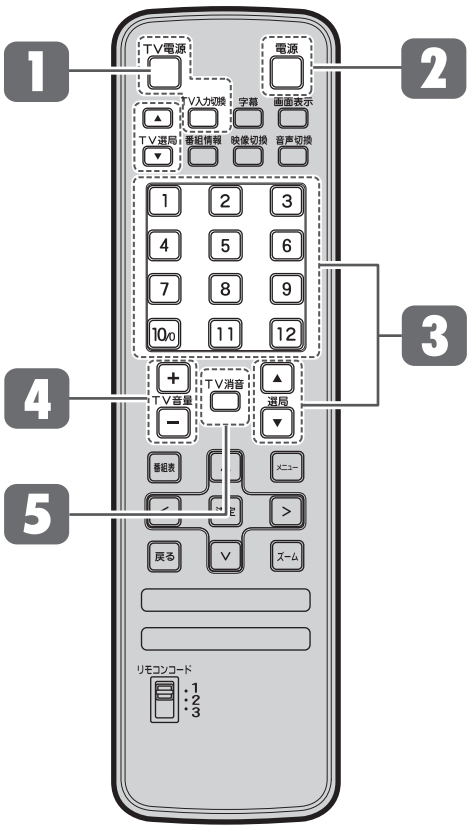


3

第 3 章
地上デジタル放送を見る

番組を見る

通常の操作はリモコンで行います。
本機前面に同種のボタンがある場合は、同じように操作できます。



1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

例えば、テレビの「ビデオ1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ1」と表示されるように、入力を切り換えてください。

※TVメーカーコード設定（☞ 29ページ）をすれば、付属リモコンからテレビ電源のオン・オフ、入力切換などの簡単なテレビ操作ができます。

2 本機の電源を入れます

リモコンの 電源 **ボタン**または本機の**電源ボタン**を押します。前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

3 チャンネルを選びます

- **数字ボタン（ 1 ～ 12 ）**で選ぶ
  見たい放送局の番号を押します。
- **選局（ ▲ / ▼ ）ボタン**で選ぶ
  押すごとにチャンネルが変わります。
  押し続けると順送りでチャンネルを変えられます。

4 音量を調節します

TV音量（ + / − ）ボタンで音量を調節します。

5 音を一時的に消します

TV消音 **ボタン**を押します。
もう一度 TV消音 **ボタン**を押すと、元の音量に戻ります。

6 電源を切ります

リモコンの 電源 **ボタン**、または本機の**電源ボタン**を押すと電源待機（スタンバイ）状態となり、電源ランプが赤点灯します。

ご参考

- 地上デジタル放送ではサブチャンネルでの放送が行われていることがあります。
  数字ボタンを繰り返し押すと、サブチャンネルを選択できます（サブチャンネルでの放送がある場合のみ）。

  例：

  2を1回 ⇒ 2_1（サブチャンネル1）
  2を2回 ⇒ 2_2（サブチャンネル2）
  2を3回 ⇒ 2_3（サブチャンネル3）

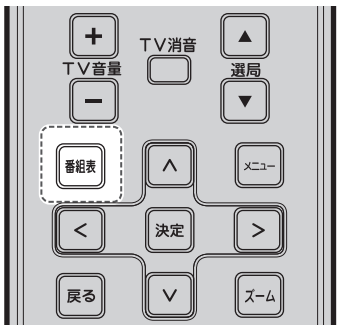
電子番組表を見る（番組表）

放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧や、個々の番組内容などを見ることができます。番組表は現在から7日先まで表示されます。

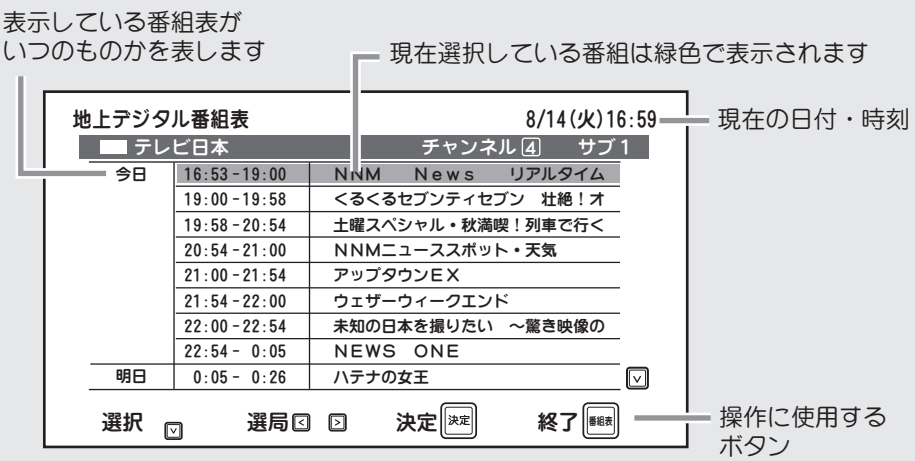
■ 番組表を表示する

番組表 ボタンを押します

押すたびに番組表の表示/非表示が切り換わります。
現在見ている番組がハイライト（緑色）されます。



番組表のみかた



お知らせ

- 電源オン直後は番組表を表示するまでに約1分程度かかる場合があります。

電子番組表を見る（番組表）

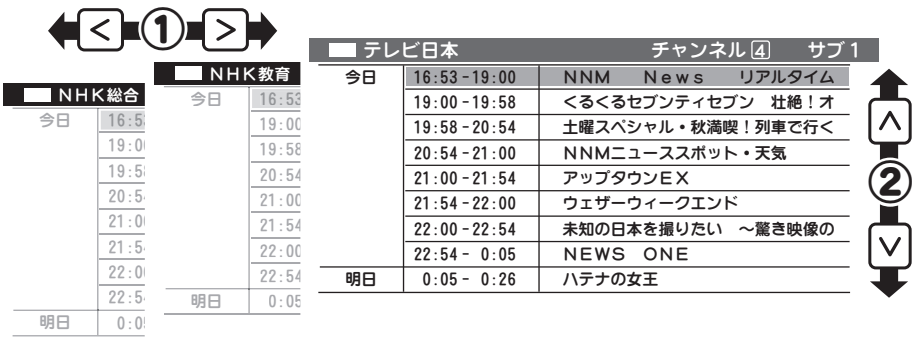
■ 番組表から番組を選ぶ

同一時間帯の他局の番組を選ぶ（①）には

< / > **ボタン**を押します

同一放送局の他の時間帯の番組を選ぶ（②）には

∧ / ∨ **ボタン**を押します



■ 番組の詳しい情報を見る（番組詳細）

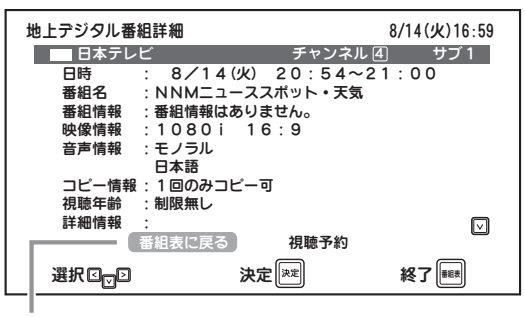
番組をハイライト（緑色）した状態で 決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

∧ / ∨ **ボタン**で「番組詳細」を選択し、決定 **ボタン**を押すと、選んだ番組の詳細な番組情報が表示されます。

「番組詳細」画面のみかた

番組詳細には、番組の内容や映像・音声情報など、選んだ番組に関するさまざまな情報が表示されます。

∧ / ∨ **ボタン**を押すと番組詳細の内容をスクロールできます。



※表示されるボタンの種類は、選択している番組や視聴予約の有無などによって変わることがあります。

- **ポップアップメニューへ戻るには**
  戻る または < **ボタン**を押す
- **番組表を見るには**
  < / > **ボタン**で「番組表に戻る」を選択し、決定 **ボタン**を押す
- **視聴予約をするには**
  ☞ 36 ページ
- **予約の編集・取消をするには**
  ☞ 39 ページ

ご注意

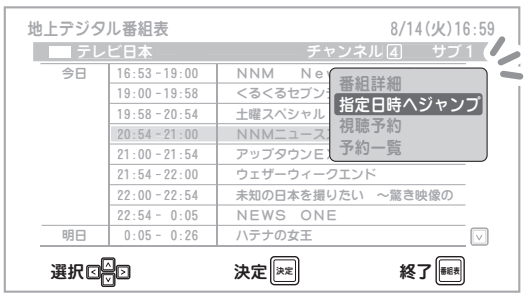
- 番組情報が取得できていない場合は、番組詳細は表示されません。

電子番組表を見る（番組表）（つづき）

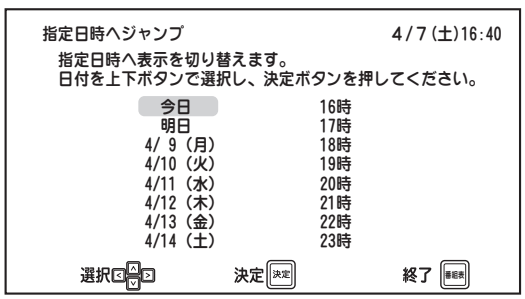
■ 指定した日時の番組表を見る（指定日時へジャンプ）

日時を指定して現在から7日先までの番組表を見ることができます。

番組をハイライト（緑色）した状態で 決定 **ボタン**を押し、ポップアップメニューを表示させます。

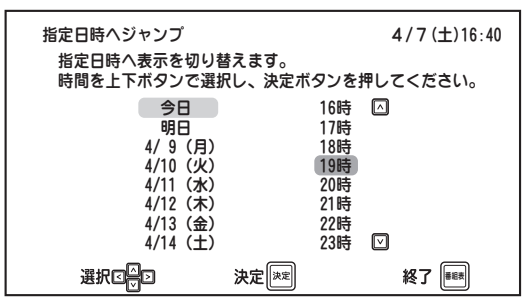


∧/∨ **ボタン**で「指定日時へジャンプ」を選び、 決定 ボタンを押すと、日時設定画面が表示されます。



∧/∨ **ボタン**で日付を選択し、決定 **ボタン**を押します。

次に ∧/∨ **ボタン**で時間を選択し、決定 **ボタン**を押します。



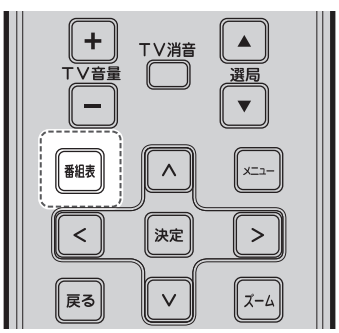
指定した日時の番組表が表示されます。

ご参考

- 決定 **ボタン**を押す前に < **ボタン**を押すと日付設定に戻ることができます。

■ 番組表を終了する

番組表 **ボタンを押します**



番組表から視聴予約をする

番組表から番組を指定して現在から7日先までの視聴予約をすることができます。
視聴予約をすると、設定した時刻に自動的に本機の電源が入り、設定したチャンネルを選局します。
予約は最大30件まで登録することができます。

お知らせ

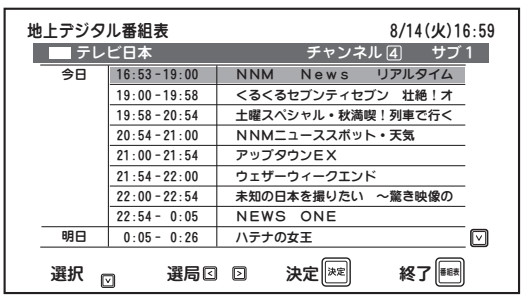
- 本機の視聴予約設定に合わせて、ビデオデッキなど本機の出力端子に接続した機器で録画設定をしておくと、デジタル放送を録画することができます（☞ 22 ページ）。
  ※ 録画機器側での録画設定が必要です。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。また、機器を接続する際には「ビデオやDVDレコーダーを接続する」も併せてご覧ください。
- メニュー画面で日時を指定して視聴予約（タイマー予約）することもできます（☞ 52 ページ）。

視聴予約をする（番組表予約）

1 視聴予約する番組を選びます

番組表を表示させ、視聴予約したい番組を選びます。
番組名をハイライトした状態で 決定 **ボタン**を押すと、画面右上にポップアップメニューが表示されます。

※番組詳細画面からも同様に選べます。

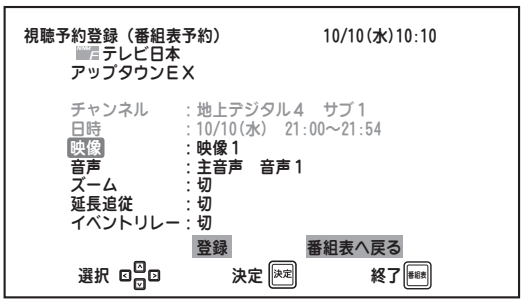


∧ / ∨ **ボタン**で「視聴予約」を選択し、決定 **ボタン**を押します。

番組表から視聴予約をする（つづき）

2 視聴予約を登録します

画面上の各項目を ∧/∨ **ボタン**で
選択し、</> **ボタン**で設定します。



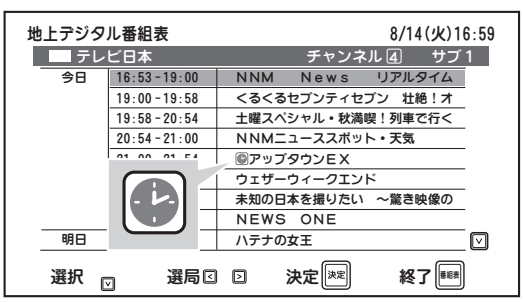
「映像」　：複数の映像がある番組の場合に選択できます（☞45 ページ）。
「音声」　：複数の音声がある番組の場合に選択できます（☞44 ページ）。
「ズーム」　：ズーム画面表示に設定できます（☞ 46 ページ）。
「延長追従」　：スポーツ中継などで番組が延長された場合でも、終了するまで自動的に予約を延長します。
「イベントリレー」：高校野球中継など、番組の途中で別のチャンネルに切り換わる場合、自動的に予約が変更されます。

※番組によって選択できない項目があります。また放送局からの情報によっては、時間変更に対応できない場合があります。

3 予約登録を完了します

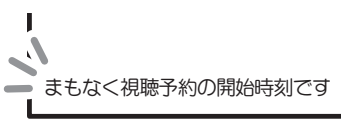
設定が終わったら ∧/∨ または </> **ボタン**で「登録」を選択し、決定 **ボタン**を押します。
登録が完了して番組表に戻ります。

視聴予約が登録されると、番組表に（タイマーアイコン）が表示されます。



ご参考

- 本機の電源が「入」のときは、予約開始時間の15秒前になると画面左下にメッセージが5秒間表示されます。



予約開始時刻になると、予約したチャンネルに切り換わります。

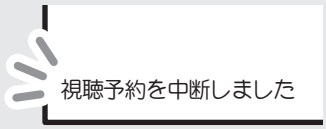
- 予約が終了すると…

予約開始時に本機の電源が「入」の場合：そのままのチャンネルを表示します。
「切」の場合：予約終了時に電源が「オフ」になります。

番組表から視聴予約をする（つづき）

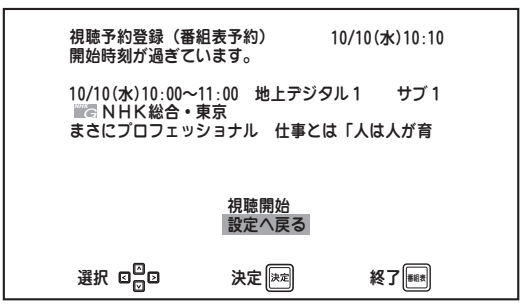
ご注意

- 番組によって、録画や録音が制限されることがあります。
- 視聴予約の実行に失敗したときは、「お知らせ」（59 ページ）にメッセージが追加されます。
- 視聴予約実行中は電源ボタン以外は操作できなくなります。
- 本機またはリモコンの電源ボタンを押すと、視聴予約を中止します。
  画面左下に



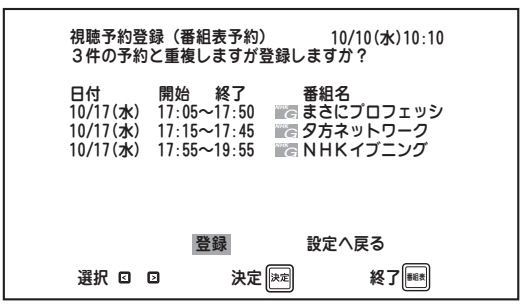
と表示されます。

正しく予約登録が完了しないときは



登録する視聴予約の開始時刻が過ぎているときに表示されます。

番組を視聴するには［∧］/［∨］**ボタン**で「視聴開始」を選んで［決定］**ボタン**を押すと、番組画面が表示されます。



同じ日時にすでに視聴予約が登録されているときに表示されます。

［<］/［>］**ボタン**で「設定へ戻る」を選んで［決定］**ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

そのまま登録する場合は、［<］/［>］**ボタン**で「登録」を選択し、［決定］**ボタン**を押します。

※この場合、登録が完了しても予約が正しく機能しない（選局されない）場合があります。

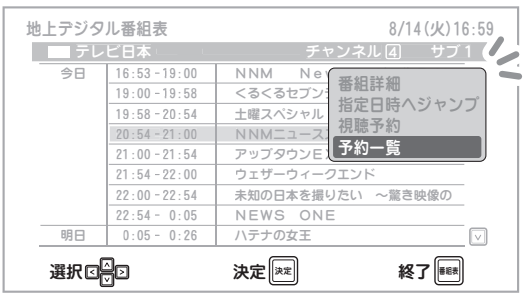
番組表から視聴予約をする（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消

登録されている視聴予約を一覧で確認できます。また、予約の編集や取り消しをすることができます。

■ 視聴予約一覧を見る

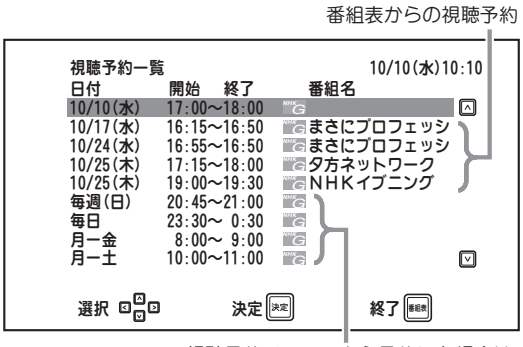
1 番組表を表示中に 決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。



2 ∧ / ∨ **ボタン**で「予約一覧」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、予約一覧画面が表示されます。

※視聴予約が１件も登録されていない場合は選択できません。

番組表 **ボタン**を押すと終了します。



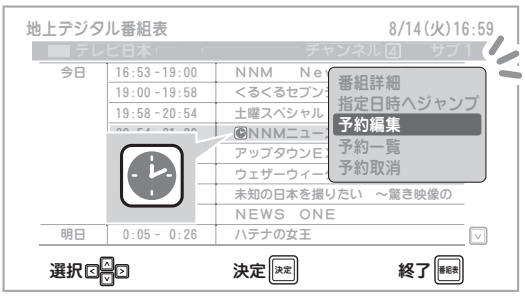
ご注意

- **予約の重複について**
  灰色の文字で表示されている視聴予約は予約が重複しており、視聴予約が正しく機能しません。設定内容を再度ご確認ください。

番組表から視聴予約をする（つづき）

■ 視聴予約を編集する

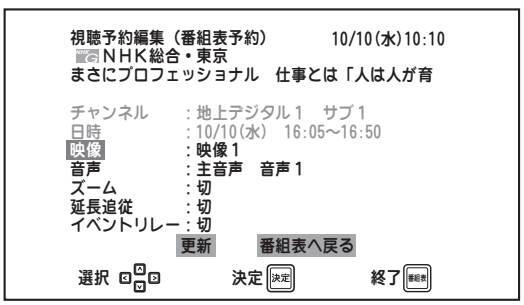
1 番組表から予約設定を編集したい番組を選んで 決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。



2 ∧ / ∨ **ボタン**で「予約編集」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、設定画面が表示されます。
編集のしかたや設定内容については「視聴予約をする」手順2（☞ 37ページ）をご覧ください。

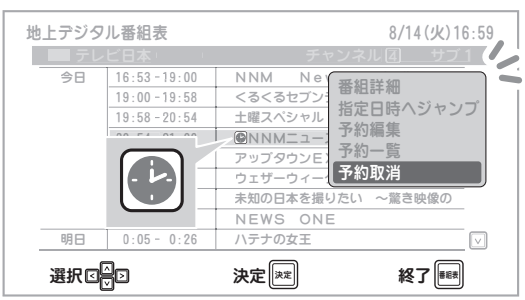
設定が終わったら ∧ / ∨ または < / > **ボタン**で「更新」を選択し、決定 **ボタン**を押します。

番組表 **ボタン**を押すと終了します。



■ 視聴予約を取り消す

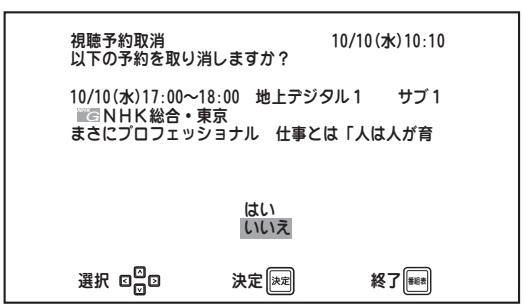
1 番組表から取り消したい番組を選んで 決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。



2 ∧ / ∨ **ボタン**で「予約取消」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、予約取消確認画面が表示されます。

∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選択し、決定 **ボタン**を押すと、視聴予約が取り消されます。

番組表 **ボタン**を押すと終了します。

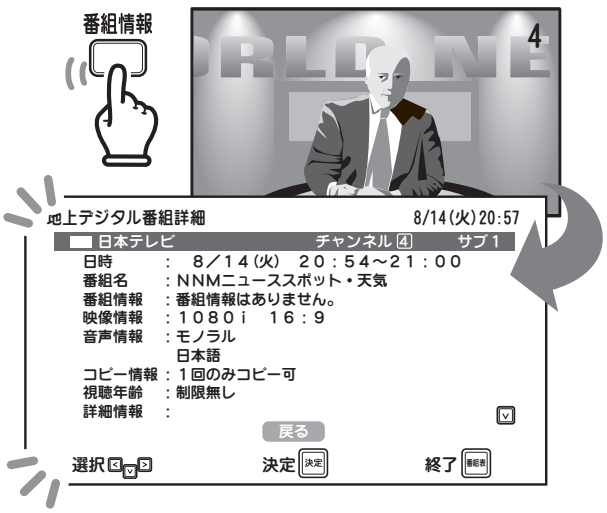


視聴している番組の番組情報を見る（番組情報）

地上デジタル放送では、視聴している番組の詳しい情報を見ることができます。

1 デジタル放送を視聴中に番組情報ボタンを押します

見ている番組の番組情報が表示されます。



2 決定ボタン、または番組情報ボタンを押すと表示が消え、元の画面に戻ります。

ご注意

- 番組情報が取得できていない場合は、番組詳細は表示されません。

チャンネル番号などを表示する（画面表示）

画面表示ボタンを押すと、現在受信中の番組情報・チャンネル番号が表示されます。

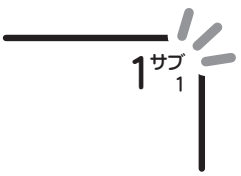
画面表示 ボタンを押します

受信中のチャンネル番号や番組名などの情報が表示されます。

もう一度 画面表示 **ボタン**を押すと画面左上の表示が消え、さらにもう一度押すと画面右上のチャンネル番号表示が消えます。

ご参考

- サブチャンネル放送がある場合、代表チャンネル番号の横にサブチャンネル番号が表示されます。



- **画面表示のみかた**
  画面左上に表示される情報として、次のものが表示されることがあります。

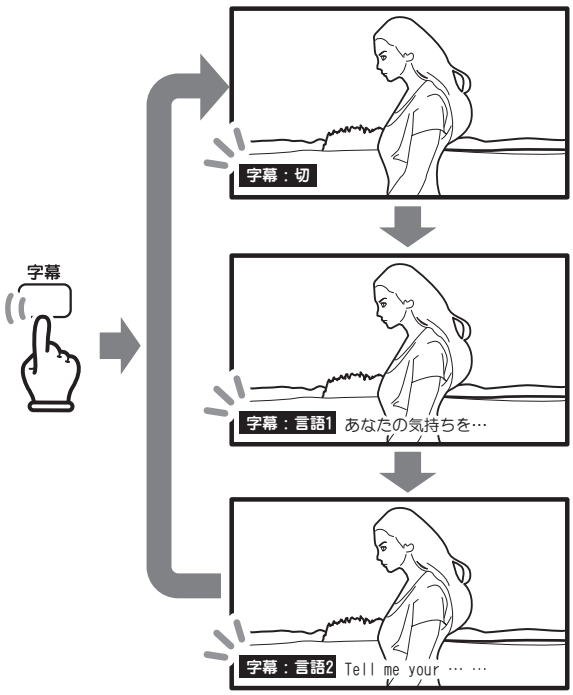
S	ステレオ放送番組	二	二ヶ国語放送番組
SS	サラウンド放送番組	解	解説音声付番組
字	字幕放送番組		

字幕を表示する（字幕）

映画やドラマなどの字幕を表示したり、消したりできます。

放送視聴中に 字幕 ボタンを押します

押すたびに切、言語 1、言語 2 と切り換わります。



ご参考

- 字幕がない番組の場合は、画面左下に

と表示されます。

お知らせ

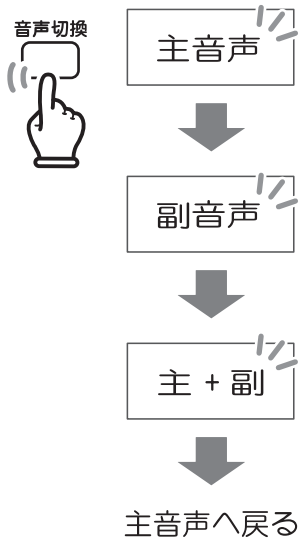
- 「言語 1」「言語 2」の表示は番組情報に依存します。
- 放送局側で字幕表示を消せない設定にしている番組もあります。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます（☞ 61 ページ）。

二ヶ国語音声を選ぶ（音声切換）

日本語と英語など二ヶ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。

音声切換 ボタンを押します

チャンネル番号、音声（主音声・副音声・主＋副）が画面右上に表示されます。
ボタンを押すたびに「主音声」「副音声」「主＋副」の順に切り換わります。



ご参考

- 切り換える音声がない場合は、画面左下に

と表示されます。

お知らせ

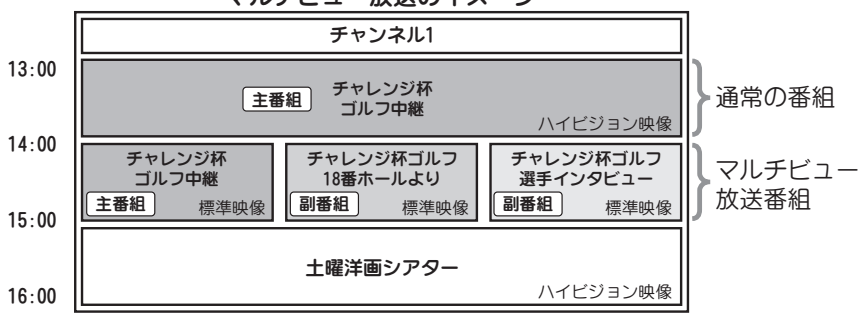
- 切り換える音声がない場合、ボタンを押しても切り換わりません。
- 主＋副にすると、左スピーカーから主音声、右スピーカーからは副音声が出力されます。
- 「主音声」「副音声」「主＋副」の表示は放送局側からの番組情報に依存します。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます（☞60ページ）。

マルチビュー放送を見る（映像切換）

お知らせ

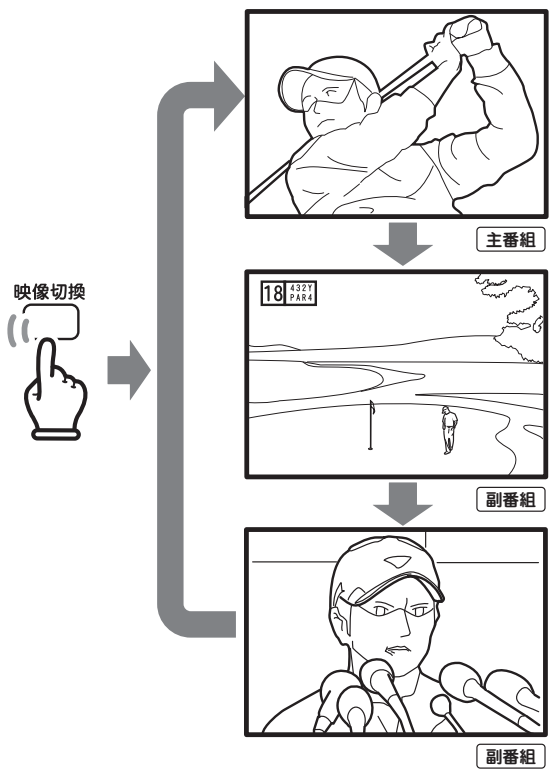
- マルチビュー放送とは
  ひとつのチャンネル内で主番組・副番組の複数映像が送られる放送です（最大3チャンネル）。
  たとえばゴルフ中継など、主番組では通常の放送、副番組ではそれぞれ18番ホールの映像と、ホールアウトした選手のインタビュー映像を放送をするなど、視聴者が見たい場面を選択して見ることができる放送が行われる予定です。
  （2008年6月現在、マルチビュー放送は行われていません。）

マルチビュー放送のイメージ



映像切換 ボタンを押します

ボタンを押すたびに、同一チャンネル内での放送が切り換わります。



ご参考

- 切り換える映像がない場合は、画面左下に

と表示されます。

ズーム画面表示にする（ズーム）

表示画面をズーム（拡大）表示することができます。

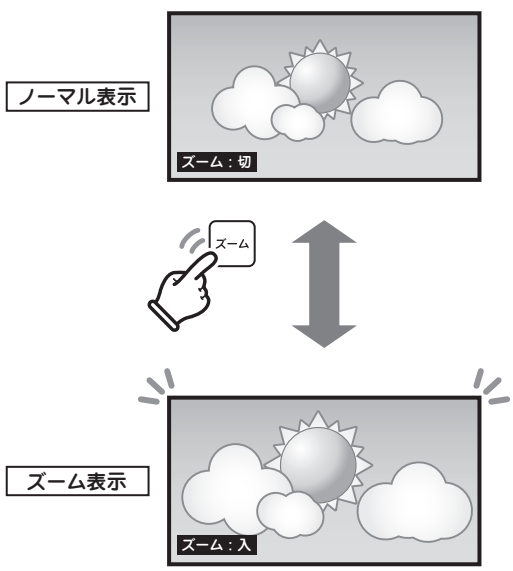
ズーム ボタンを押します

ご参考

- ズーム表示はチャンネルを変えたり、電源を切るとノーマル表示に戻ります。

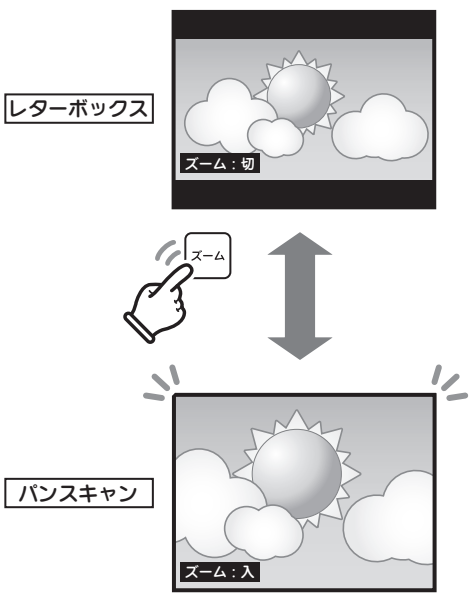
接続テレビ設定が「ワイドテレビ」設定の場合

ボタンを押すたびに画面がノーマル表示、ズーム表示に切り換わります。



接続テレビ設定が「4：3レターボックス」・「4：3パンスキャン」設定の場合

ボタンを押すたびに画面がレターボックス表示・パンスキャン表示に切り換わります。



※接続テレビ設定はメニュー画面（60ページ）でも再設定できます。

リモコンコードを設定する

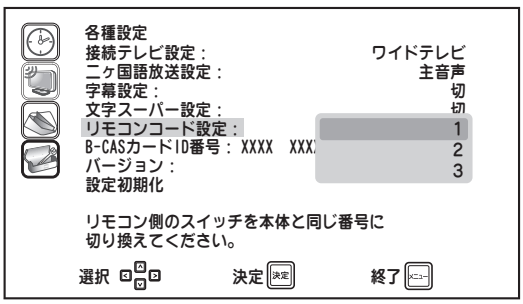
本機を同じ部屋に複数台設置される場合には、リモコン信号の混信による誤動作を防ぐため、それぞれの機器に異なるリモコンコードを設定してください。

ご参考

- 本体およびリモコンの各リモコンコードは出荷時「1」に設定されています。

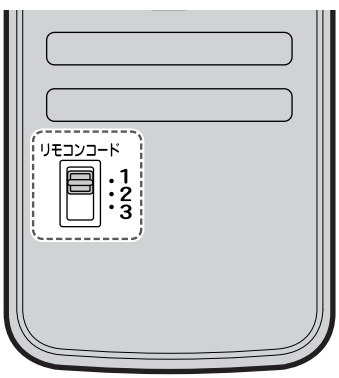
1 各種設定メニュー画面で本体のリモコンコードを設定します（61 ページ）

1・2・3 のいずれか（リモコンと同じ番号）を選んで 決定 **ボタン**を押します。



2 リモコン下部にあるリモコンコードスイッチを設定します

1・2・3 のいずれかに切り換えます。



ご注意

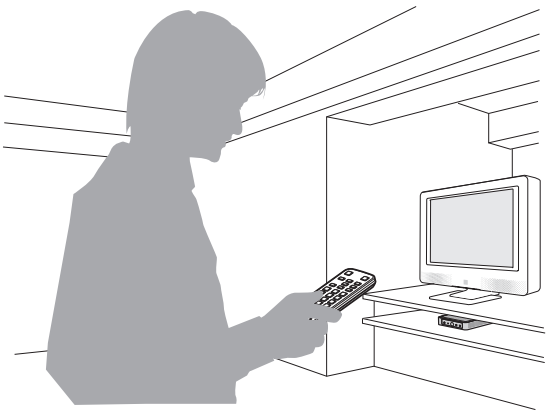
- リモコンと操作したい機器のリモコンコードは必ず同じ番号に合わせてください。

3 設定を確認します

リモコンの 電源 **ボタン**を押して、本機の電源がオン・オフできることを確認してください。

4

第 4 章
メニュー操作のしかた

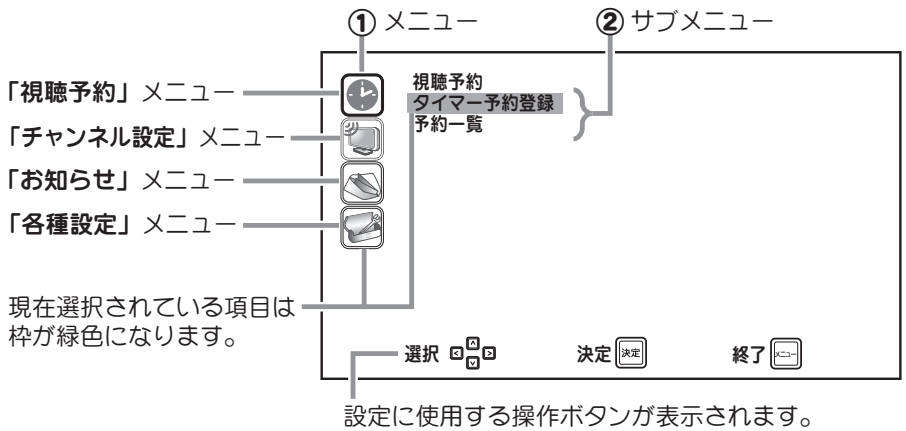


メニュー操作のしかた（メニュー）

- [メニュー]**ボタン**を押すとメニュー画面が表示されます。再度押すと元の画面に戻ります。
- メニュー画面では、チャンネル設定や字幕設定などの各種設定、および視聴予約（タイマー予約）ができます。
- 項目設定後、初期（工場出荷時）状態に戻したいときは、設定初期化を行ってください（☞62 ページ）。
- 何もしない状態が約60秒間続くと画面表示は消えます。[メニュー]**ボタン**を押すと再度表示されます。

メニューの操作と項目設定のしかた

※画面は「視聴予約」メニューを選択した状態です。



1 [メニュー] **ボタン**を押し、メニューを表示させます。

2 [∧]/[∨] **ボタン**を押し、設定したい第1階層のメニュー（①）を選択します。選択されている項目はアイコンの枠が緑色になります。
選択中は右にそのメニューで設定できる第2階層のサブメニュー（②）が表示されます。
[決定] **ボタン**を押すと第2階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライト（緑色）されます。

メニューの操作・設定は
これらのボタンで行います

3 [∧]/[∨] **ボタン**で選択項目のハイライト（緑色）を動かし、第2階層のサブメニューを選択します。

4 第3 階層の設定を変更するときは、[決定] **ボタン**を押し、[<]/[>]（または [∧]/[∨]）**ボタン**で第3階層の設定値を変更します。

5 [決定] **ボタン**を押し、設定を完了させます。
各設定項目は次ページのメニュー一覧表をご覧ください。
各設定項目はすべて同様の方法で設定が行えます。

メニュー一覧表

第1階層(メニュー)	第2階層(サブメニュー)	第3階層
視聴予約（52ページ）	●視聴予約メニュー	
	タイマー予約登録	タイマー予約登録
	予約一覧	編集 取消
チャンネル設定（56ページ）	●チャンネル設定メニュー	
	アンテナレベル	受信電波のレベル表示
	ボタン割り当て変更	チャンネル設定リスト
	自動チャンネル設定	「はい」「いいえ」
お知らせ（59ページ）	●お知らせメニュー	
	リスト(未読・タイトル)表示	詳細表示
各種設定（60ページ）	●各種設定メニュー	
	接続テレビ設定	「ワイドテレビ」 「4：3レターボックス」 「4：3パンスキャン」
	二ヶ国語設定	「主音声」「副音声」「主/副」
	字幕設定	「切」「言語1」「言語2」
	文字スーパー設定	「切」「言語1」「言語2」
	リモコンコード設定	「1」「2」「3」
	B-CASカードID番号	
	バージョン	
	設定初期化	「はい」「いいえ」

視聴予約

電子番組表で行う視聴予約は番組単位での予約ですが、タイマー予約登録では、日付と時刻をお好みで指定して予約することができます。例えば、同一チャンネルで放送される複数の番組を続けて視聴や録画したいときなどにお使いいただけます。

※電子番組表での視聴予約については、「番組表から視聴予約する」（☞36ページ）をご覧ください。

視聴予約メニューを表示するには、第1階層のメニュー画面で「視聴予約」を[∧]/[∨]**ボタン**で選んで[決定]**ボタン**を押します。画面右側には第2階層のサブメニューが表示されます。

視聴予約メニュー画面

視聴予約をする（タイマー予約登録）

1 [∧] / [∨] **ボタン**で「タイマー予約登録」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、視聴予約登録画面が表示されます。

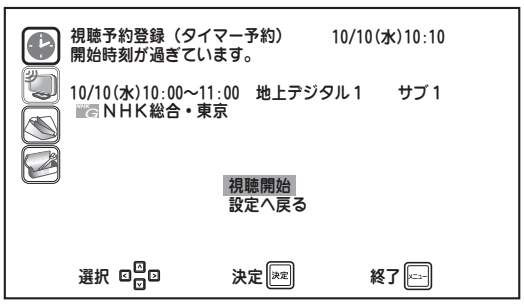
2 各項目を設定します。
設定および登録の方法は「番組表から視聴予約する」（☞37ページ）と同様です。

「チャンネル」：チャンネルを設定します。
※番組表からの予約とは異なり、番組名の表示や登録は行われません。
「日時」：予約を開始・終了する日付と時間を設定します。
「音声」：二ヶ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。
「ズーム」：ズーム画面表示に設定できます。
※ズーム機能については46ページをご覧ください。

視聴予約（つづき）

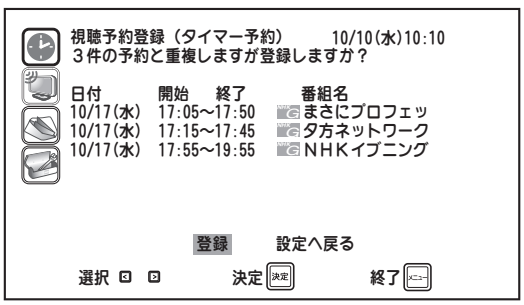
3 設定が終わったら [∧] / [∨] **ボタン**または [<] / [>] **ボタン**で「登録」を選択し、[決定] **ボタン**を押します。

正しく予約登録が完了しないときは



登録する視聴予約の開始時刻が過ぎているときに表示されます。

番組を視聴するには [∧] / [∨] **ボタン**で「視聴開始」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、番組画面が表示されます。



同じ日時にすでに視聴予約が登録されているときに表示されます。

[<] / [>] **ボタン**で「設定へ戻る」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

そのまま登録する場合は、[<] / [>] **ボタン**で「登録」を選択し、[決定] **ボタン**を押します。

※この場合、登録が完了しても予約が正しく機能しない（選局されない）場合があります。

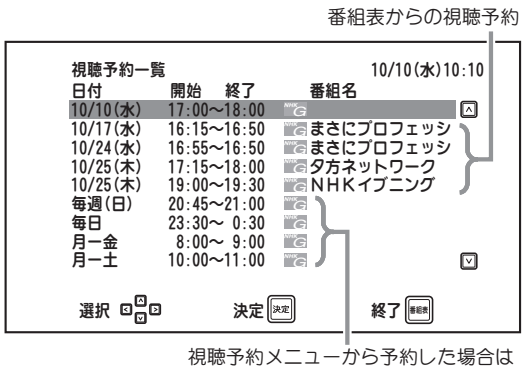
視聴予約（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消

登録されている視聴予約を一覧で確認できます。また、予約の編集や取り消しをすることができます。

■ 視聴予約一覧を見る

視聴予約のサブメニュー画面から ∧ / ∨ **ボタン**で「予約一覧」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、視聴予約一覧が表示されます。



ご注意

- **予約の重複について**
  灰色の文字で表示されている視聴予約は予約が重複しており、視聴予約が正しく機能しません。設定内容を再度ご確認ください。

■ 視聴予約を編集する

1 視聴予約一覧から編集したい視聴予約を選んで（緑色表示） 決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

2 ∧ / ∨ **ボタン**で「編集」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、設定画面が表示されます。

編集のしかたや設定内容については 52 ページの「視聴予約をする」手順 2 をご覧ください。

3 設定が終わったら ∧ / ∨ または < / > **ボタン**で「更新」を選択し、決定 **ボタン**を押します。
終了するには メニュー **ボタン**を押します。

視聴予約（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消（つづき）

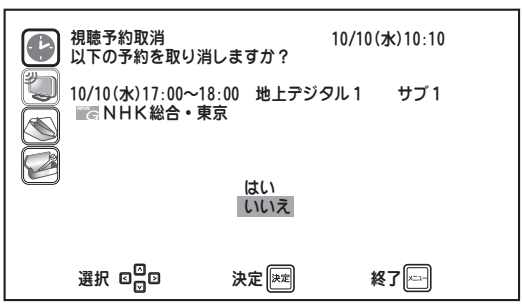
■ 視聴予約を取り消す

1 視聴予約一覧から取り消したい視聴予約を選んで（緑色表示）決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

2 ∧ / ∨ **ボタン**で「取消」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、予約取消確認画面が表示されます。

∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選択し、決定 **ボタン**を押すと、視聴予約が取り消されます。

メニュー **ボタン**を押すと終了します。



視聴予約機能ご使用時のご注意

- 視聴予約の実行に失敗したときは、「お知らせ」にメッセージが追加されます。
- 視聴予約実行中は、電源ボタン以外は操作できません。
- 本体、またはリモコンの電源ボタンを押すと視聴予約を中止します。
  （画面左下に「視聴予約を中断しました」と表示されます。）

チャンネル設定

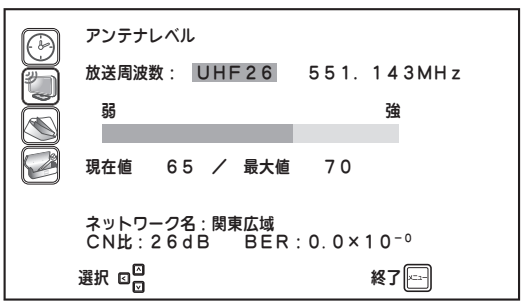
第1階層のメニュー画面で「チャンネル設定」を[∧]/[∨]**ボタン**で選び、[決定]**ボタン**を押します。
画面右側には第2階層のサブメニューが表示されます。

チャンネル設定メニュー画面

アンテナレベル

チャンネル設定サブメニューで「アンテナレベル」を選択すると、右記の画面が表示されます。現在ご覧になっているチャンネルのアンテナが受信している電波強度を確認することができます。

[メニュー] **ボタン**を押してメニューを終了します。

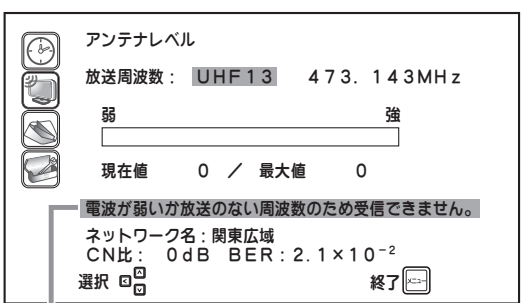


受信レベルを確認するだけで数値の変更はできません。数値が極端に低く、画質が悪いときは、アンテナの向きを変更するなど設置条件を変更してください（☞20ページ）。

※受信レベルは55*以上となるようにしてください。

*数値は目安です。チャンネルによっては受信できない場合もあります。

電波が受信できない場合は、表示画面下側に右のように表示されます。

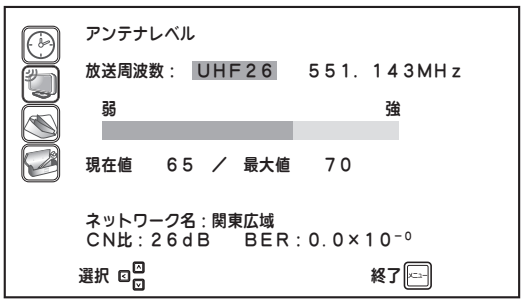


受信電波レベルが不十分な場合に表示されます。

チャンネル設定（つづき）

ご参考

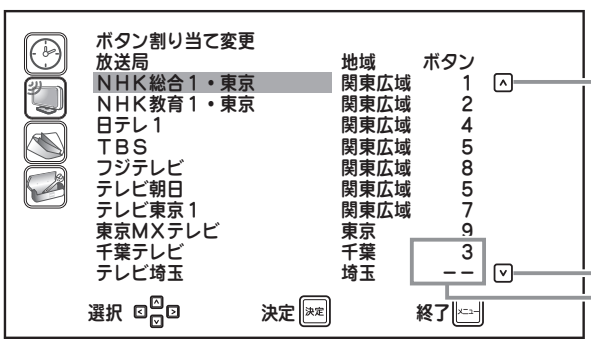
- ネットワーク名について
  受信チャンネルの放送地域を表します。
  お住まいの地域やアンテナの向きによっては他地域のネットワーク名が表示されることがあります。
- CN（Carrier to Noise）比について
  搬送波対雑音の比を表します。
  数値が高いほど受信状態が良くなります。
- BER（Bit Error Rate）について
  ビット誤り率を表します。数値が低いほど受信状態が良くなります。
  ※ 表示される値は参考値です。



- **選局（ ▲ / ▼ ）ボタン**を押すとボタン割り当てされたチャンネルのみの切り換えが行われますが、**∧/∨ボタン**を押した場合は割り当てられていないチャンネルも順次切り換えることができます。

ボタン割り当て変更設定

自動チャンネル設定により、ボタン割り当てが同じ複数の局を受信した場合、うち１局はボタン表示部分にーーと表示され、選局することができません。空いている任意のボタン数字を設定して、受信した各チャンネルにボタンを割り当て、選局できるようにします。また、割り当てられているボタン数字を変更する場合にも以下の操作を行います。



画面に表示しきれない場合に表示されます。
∧∨ **ボタン**でスクロールします。

ボタン割り当てが同じ２つの局を受信した状態

1 チャンネル設定のサブメニューで「ボタン割り当て変更」を選び、決定 **ボタン**を押します。

2 ∧/∨ **ボタン**で変更したい放送局を選び、決定 **ボタン**を押します。

3 ∧/∨ **ボタン**で空いている数字を選びます。

4 決定 **ボタン**を押し、設定を完了させます。

5 さらにボタン割り当て変更を続ける場合、**2**～**4**を繰り返します。

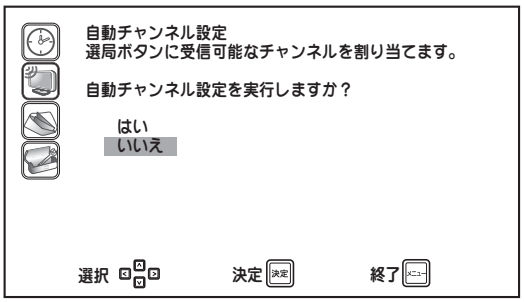
6 メニュー **ボタン**を押してメニューを終了します。

チャンネル設定（つづき）

自動チャンネル設定

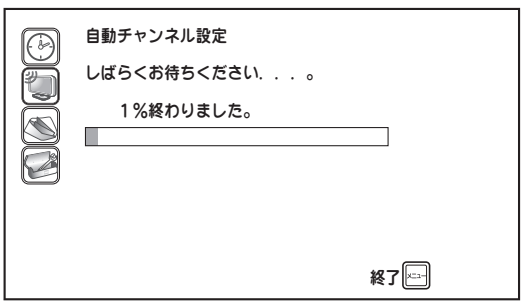
自動チャンネル設定は「初期設定をする」（☞27ページ）で完了していますが、引越し等で受信チャンネルの変更が必要な場合は、下記の要領で自動チャンネル設定を行ってください。

チャンネル設定のサブメニューで「自動チャンネル設定」を選択すると右の画面が表示され、自動チャンネル設定の実行・中止を選択できます。



画面は最初、「いいえ」が選択されています。
∧/∨**ボタン**で「はい」を選択し、決定**ボタン**を押すと受信チャンネルの自動スキャンを開始します。

※スキャン中にメニュー**ボタン**を押した場合は、スキャンを中止し元の受信画面に戻ります。

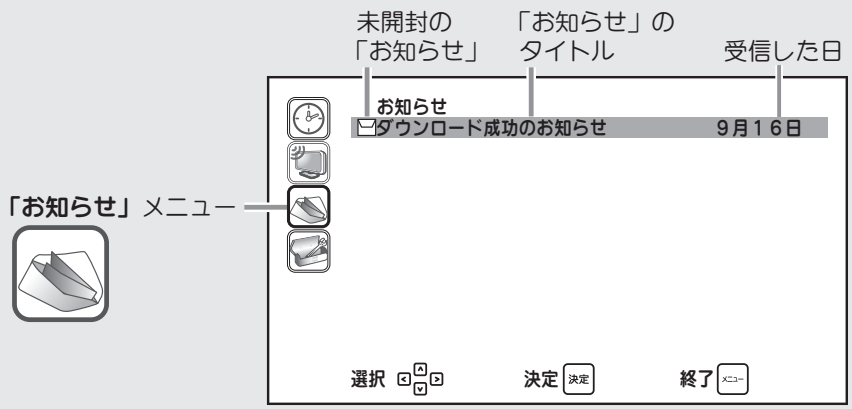


スキャンが終了すると、画面には数字ボタン「1」に割り当てられたチャンネルが表示されます。

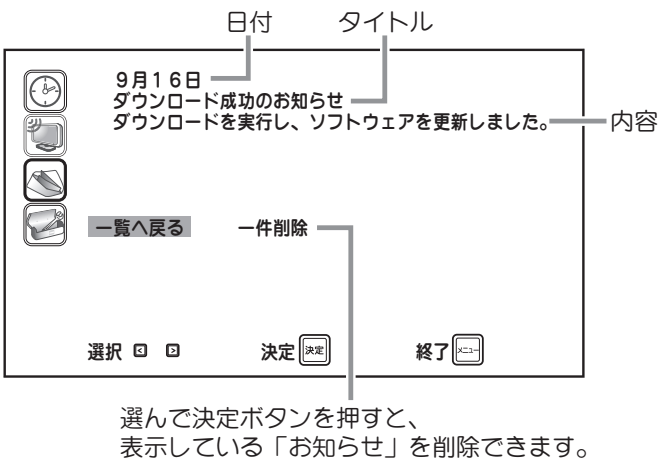
お知らせ

第1階層のメニュー画面で「お知らせ」を[∧]/[∨]**ボタン**で選び、[決定]**ボタン**を押します。
画面右側には第2階層のサブメニュー（リスト）が表示されます。
※お知らせが1件もない場合は「お知らせはありません」と表示されます。

お知らせメニュー画面



サブメニューから[∧]/[∨]**ボタン**で表示したい項目を選択し、[決定]**ボタン**を押すとその詳細が表示されます。



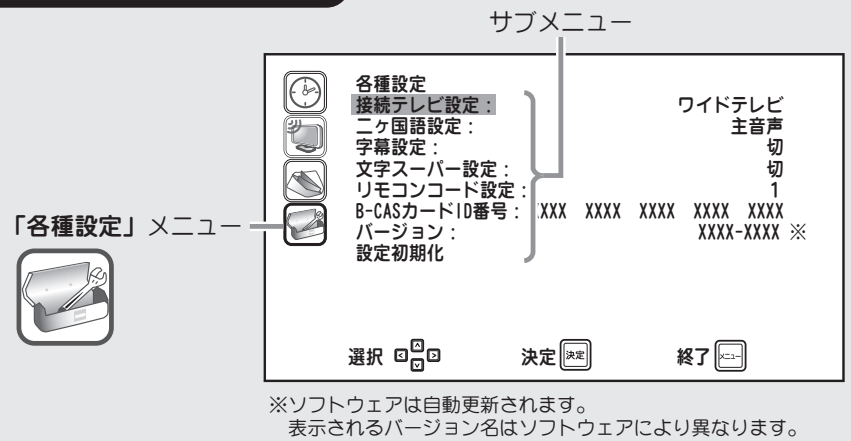
ご注意

- お知らせは最大32件まで保存されます。32件を超えて新たに受信した場合は、一番古いお知らせから削除されます。

各種設定

第１階層のメニュー画面で「各種設定」を[∧]/[∨]**ボタン**で選び、[決定]**ボタン**を押します。
画面右側には第２階層のサブメニューが表示されます。[∧]/[∨]**ボタン**でサブメニューを選び、[決定]**ボタン**を押します。

各種設定メニュー画面



※ソフトウェアは自動更新されます。
表示されるバージョン名はソフトウェアにより異なります。

接続テレビ設定

接続するテレビに合わせて設定します。

※設定の詳細については、「初期設定をする」（☞26 ページ）をご覧ください。

[∧]/[∨]**ボタン**で選択し、[決定]**ボタン**で設定します。

二ヶ国語設定

音声モードの切換設定を行います。

- 主音声：　主音声を出力します。
- 副音声：　副音声を出力します。
- 主 / 副音声：　主＋副音声を出力します。

[∧]/[∨]**ボタン**で選択し、[決定]**ボタン**で設定します。

各種設定（つづき）

字幕設定

字幕表示の設定を行います。

・切：　　表示しません。
・言語 1：　言語 1 を表示します。
・言語 2：　言語 2 を表示します。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

文字スーパー設定

文字スーパーの表示設定を行います。

・切：　　表示しません。
・言語 1：　言語 1 を表示します。
・言語 2：　言語 2 を表示します。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

リモコンコード設定

本機のリモコンコード番号を設定します。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

B-CAS カード ID 番号

B-CAS カード ID 番号を表示します。

バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

各種設定（つづき）

設定初期化（工場出荷設定）

本機の設定を工場出荷時の状態に戻すためには以下の操作を行ってください。

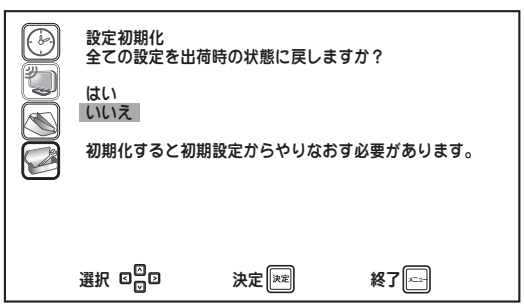
ご注意

- 初期化中は、絶対にACアダプターを抜かないでください。
- 初期化中はすべてのボタン操作ができません。

1 第1階層のメニュー画面で「各種設定」を[∧]/[∨]**ボタン**で選び、[決定]**ボタン**を押します。
画面右側には第2階層のサブメニューが表示されます。

2 [∧]/[∨]**ボタン**を押し、「設定初期化」を選択します。

3 [決定]**ボタン**を押すと、設定初期化画面が表示されます。



4 [∧] / [∨] **ボタン**で「はい」を選択し、[決定]**ボタン**を押すと初期化を開始します。

初期化が完了すると、初期設定メニュー画面（☞26ページ）が表示されます。

5

第5章
ご参考

ソフトウェアのダウンロード

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは、本機のソフトウェアを最新の内容に書き換えて、機能の追加や改善を行うためのものです。本機は地上デジタル放送によるソフトウェアの自動ダウンロードに対応していますので、操作や設定を行うことなく常に最新版に更新されたソフトウェアでご使用いただけます。

■ 自動でダウンロードが行われるためには

- あらかじめ本機の電源を入れ、地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです。）
- ダウンロードは電源待機状態（電源ランプ赤点灯）のときだけ行われます。

■ダウンロードが正常に終了すると

- ダウンロード成功のお知らせが届きます。メニューから「お知らせ」を選択して確認します（☞59 ページ）。

■ソフトウェアのバージョンを確認するには

- メニューから「各種設定」を選択して確認します（☞61 ページ）。

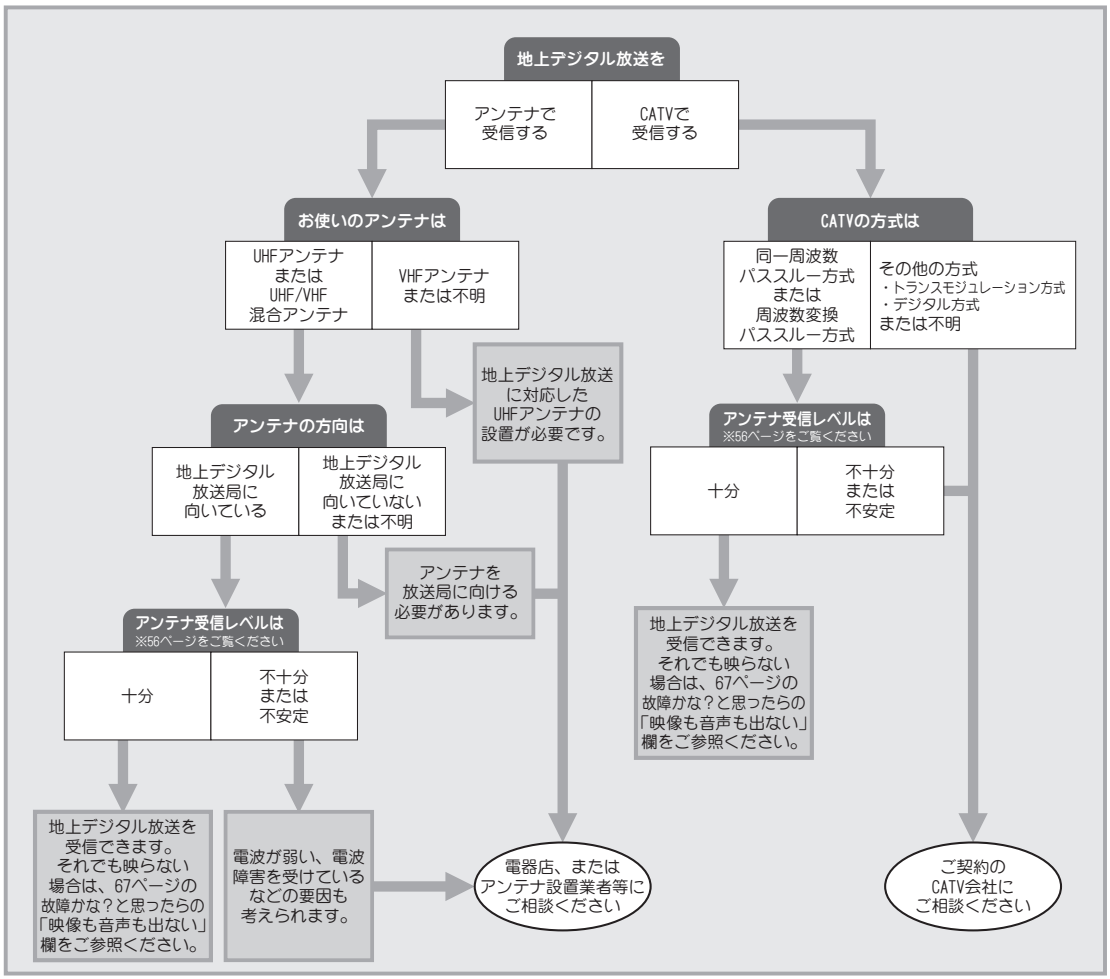
おもな仕様

品名		地上デジタルチューナ
本体寸法：幅×高さ×奥行		16.0cm × 4.2cm × 15.9cm
本体質量		約 410g
使用電源		AC アダプター（品番：AD-971） AC100V 50Hz/60Hz、DC5V 1.6A（最大）
使用温度		0℃～＋ 40℃
消費電力 / 待機時消費電力		7W/0.3W
放送	放送方式	地上デジタル放送方式（日本）
	チューナ	地上デジタルチューナ × 1
	チャンネル	地上波（UHF）:13 ～ 62ch、CATV:1 ～ 12ch、C13 ～ C63ch （同一周波数パススルー方式および 周波数変換パススルー方式に対応）
入出力端子	アンテナ入力端子	1 系統
	ビデオ出力端子	2 系統
	S ビデオ出力端子	1 系統
	アナログ音声出力端子	2 系統

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機のメニュー画面や画面で表示されるフォントとして、株式会社リコーが製作したリコービットマップフォントを使用しています。

地上デジタル放送が受信できないときは

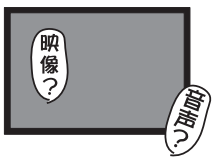
地上デジタル放送が正しく受信できない場合は、下記のフローチャートにしたがってお確かめください。また、必要に応じて電器店、アンテナ設置業者、CATV 会社等にお問い合わせください。



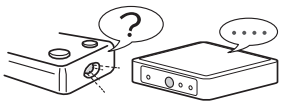
- 本機は BS デジタルチューナーおよび 110 度 CS デジタルチューナーを内蔵しておりません。BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送をご覧になる場合は、別途 BS デジタルチューナーおよび 110 度 CS デジタルチューナーをお求めください。
- アンテナの設置や地上デジタル放送に対応したアンテナかどうかについて、詳しくは電器店やアンテナ設置業者等にご相談ください。
- CATV をお使いの場合、詳しくは各 CATV 会社にご相談ください。
- マンションなど集合住宅の場合、詳しくはお住まいの管理組合または管理会社等にご相談ください。
- 地上デジタル放送は 現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で送信されますので受信エリアが限定されます。
- 受信障害のある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 専用の UHF アンテナ、デジタル放送対応のブースター・分配器などの機器が必要なことがあります。
- 地上デジタル放送局からの送信出力が増大されたときは、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要になることがあります。
- 本機では地上デジタル放送の電波の送出の変更に関する情報、周波数変更、新規の変更などを電波を通じて受信すると、「お知らせメッセージ」にメッセージが追加されます。それに合わせてチャンネルの再設定を行ってください。
- 地上アナログ放送などの電波の送出の変更については、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては70ページの「保証と修理サービス」をご覧ください。
次のことを調べても、なお異常があるときは、お買いあげの販売店または当社カスタマーセンター、お近くの支店、営業所にご相談ください。（☞裏表紙をご覧ください）。

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
映像も音声も出ない 	●ACアダプターが正しく接続されていますか？ ●リモコンまたは本体の電源ボタンを押しましたか？ ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？ ●アンテナおよび各機器の接続は正しいですか？ ●各種設定は正しいですか？ ●テレビ側の入力切換で、本機が接続されていない入力端子を選んでいませんか？	24 25 20 19～22 60 25
音声が出ない 	●テレビの音量調整が最小になっていませんか？ ●テレビが消音になっていませんか？ ●音声入力端子にオーディオケーブルは接続されていますか？	32 32 21
ブロックノイズが出る 	●電波状態が悪いことが考えられます。 ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？	20 20
映像が横長や縦長になる 	●接続テレビ設定が接続されているテレビに合っていますか？	26, 60
映像がモザイク状になる 	●電波状態が悪い場合が考えられます。	20
字幕が出ない	●字幕の設定が「切」になっていませんか？ ●字幕のある番組を視聴していますか？	61 43

故障かな？と思ったら

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
リモコンが動作しない 	●電池は正しい向きで入っていますか？ ●リモコンの電池寿命が考えられます。 ●蛍光灯の強い光や直射日光がリモコン受光部に当たっていませんか？ ●本体とリモコンのリモコンコードは同じ番号になっていますか？	18 18 18 47, 61
電子番組表に表示される番組が少ない	●本機の電源を待機中にしておくと、電子番組表が自動的に取得されます。 ●長時間ACアダプターやアンテナケーブルをはずしたあとに電源を入れると、電子番組表に表示される番組が少なくなることがあります。	― ―

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このようなときは一度ACアダプターをコンセントから抜き、数分後、再度コンセントに差し込み、電源を入れてご使用ください。
- 本機は地上デジタル放送の「ワンセグ」には対応しておりません。

エラーメッセージ

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

メッセージ	内　容
受信できません（E202）	• 電波状況が悪いことが考えられます。アンテナケーブルが抜けていませんか？（☞19 ページ）
放送休止中のため受信できません。	• 放送再開までお待ちください。
受信できるチャンネルがありません。 アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を行ってください。	• アンテナが正しく接続されていないまま、初期設定を行ったことが考えられます。アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を行ってください。（☞58 ページ）
このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	• ボタンにチャンネルが割り当てられていないときに表示されます。割り当てが必要な場合には、「自動チャンネル割り当てについて」（☞28 ページ）および「ボタン割り当て変更設定」（☞57 ページ）を参照してください。
B-CAS カードを挿入してください。	• B-CAS カードが正しく挿入されていないときに表示されます。B-CAS カードを正しく挿入してください。
B-CAS カードの交換が必要です。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 コード：※※※※	• B-CAS カードの交換が必要なときに表示されます。 • B-CAS カードが壊れたり、異なるIC カードが挿入されているときに表示されます。 • B-CAS カードの交換が必要な場合には、http://www.b-cas.co.jp/refer.html ㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターにお問い合わせください。
この B-CAS カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 コード：※※※※	
この B-CAS カードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。 コード：EC01	
この B-CAS カードではご覧になることができません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 コード：EC02	

保証と修理サービス

修理サービスについて

●製品に異常が生じたときには、67 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みになり、点検してください。
点検を繰り返しても正常に動作しないときは、お買いあげの販売店またはお近くの当社支店、営業所にご相談ください。

●ご転居のときは事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
●ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときには、この取扱説明書の裏表紙の営業所をご覧のうえ、お近くの当社支店、営業所へご相談ください。

補修用性能部品について

●このデジタルチューナの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後８年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●この製品の保証期間は、お買い上げ日より１年間です。保証期間中の故障は下記の無料修理規定により、当社にて責任をもって修理いたします。ただし、ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷などの場合は保証期間内でも有料修理となります。
●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
●なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または当社のもよりの各支店・営業所にお問い合せください。

裏表紙に記載している保証書に必要事項をご記入ください。

●無料修理規定

１．保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店を通じて無料修理いたします。
２．次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
②お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、指定以外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷。
④故障の原因が本製品以外の部分（例えばテレビ等）、またはその他の機器によって生じた修理、および改良。
⑤一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
⑥本保証書が添付されていない場合。
⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
３．本保証書は日本国内にのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
４．期間中の転居、その他の理由により本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りのDX製品取扱店、またはDXアンテナ各支店、営業所へご相談ください。
５．お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
６．この保証書によって保証書を発行しているもの（保障責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

さくいん

英数

4：3レターボックス 26
4：3パンスキャン 26
ACアダプター 24
B-CASカード 3, 23
　B-CASカードID番号 61
BER 57
CATV 20
CN比 57
DVDレコーダー 22
S映像入力端子 21
TVメーカーコード 29
VHF/UHFアンテナ 3

ア行

アンテナケーブル 14
アンテナ接続 19
アンテナレベル 56
映像切換 45
エラーメッセージ 69
お知らせ 59
音声切換 44
音量調節 32

カ行

各種設定 60
画面表示 42
乾電池 18
決定ボタン 25
工場出荷設定 ..... 設定初期化を参照

サ行

サブチャンネル 32
視聴予約
　番組表からの視聴予約 36
　メニューからの視聴予約 52
　予約一覧 39
　予約の編集・取消 39
自動チャンネル設定 27, 58
字幕 43
仕様 65
消音 32
初期設定 25
ズーム 46
接続テレビ設定 26, 60
設定初期化 62
選局 32

タ行

ダウンロード 64
チャンネル設定 56
チャンネル割り当て
　自動割り当て ..... 自動チャンネル設定を参照
　割り当て変更 ... ボタン割り当て変更設定を参照
テレビ ..... 接続テレビ設定を参照
電源接続 24

ナ行

二ヶ国語放送 44
入力切換 25
ネットワーク名 57

ハ行

バージョン 61
番組詳細 34
番組情報 41
番組表 33
ビデオデッキ 22
付属品 14
ボタン割り当て変更設定 57

マ行

マルチビュー放送 45
メニュー一覧表 51
メニュー画面 50
文字スーパー設定 61

ヤ行

予約 ..... 視聴予約を参照

ラ行

リモコン 15, 18
リモコンコード 47, 61

ワ行

ワイドテレビ 26

注意事項

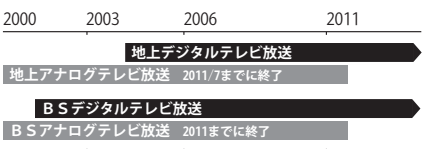
- 本機は、BSデジタルチューナーおよび110度CSデジタルチューナーを内蔵しておりません。BSデジタル放送および110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、別途BSデジタルチューナーおよび110度CSデジタルチューナーをお求めください。
- 地上デジタル放送を受信するためには対応したUHFアンテナが必要です。

  設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。
- CATVの受信は、サービスが行われている地域でのみ受信が可能です。地上デジタル放送がパススルー方式で送信されている場合は、本機のアンテナ端子に接続して受信することもできます。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- マンションなど集合住宅での共同受信の場合、詳しくは管理組合または管理会社等にご確認ください。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。

  また、この機能により、ビデオデッキを介してテレビに出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とテレビを直接接続してお楽しみください。
- ビデオデッキ・DVDレコーダーなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 商品の仕様およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
- 取扱説明書のイラスト・画面表示などは説明を目的としているため、実際とは異なる場合があります。

デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信エリアは、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。



便利メモ
おぼえのため記入されると便利です。

B-CASカード番号
(B-CASカードの裏面に表示されています。)

保証書

品番	※お買上年月日	保証期間
DIR610	年 月 日	お買上日より 1年間

※ご販売店	ご住所・ご店名 電話( ) –
※お客様 お名前	ふりがな 様
※お客様 ご住所	□□□-□□□□ 電話( ) –

※印欄に記入がない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・柏出張所 TEL.(04)7192-1681(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京支店 TEL.(03)3526-5402(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・中部支店 TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・厚木出張所 TEL.(046)225-6102(代)	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)			(2008年3月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/